

第2節 □ 未来とやま

未来を築く人づくり・美しい県土づくり

政 策

I 子育て支援、教育の充実

- 1 子育ての支援
- 2 家庭や地域における健やかな子どもの育成
- 3 義務教育等の充実
- 4 高等学校教育の推進
- 5 大学教育・学術研究・科学技術の振興
- 6 生涯をとおした学びの推進

II 多彩な県民活動の推進

- 7 自主的な社会活動の推進
- 8 男女共同参画の推進
- 9 若者や中高年世代の活躍の場の拡大
- 10 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成
- 11 芸術文化の振興
- 12 国際化の推進

III 魅力ある地域づくり

- 13 交流人口の拡大、定住・半定住の促進
- 14 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見
- 15 美しい景観づくり・歴史や文化を活かしたまち並みづくり
- 16 農山漁村の活性化
- 17 豊かで美しい森づくり・花と緑の地域づくり

1 子育ての支援

政策目標 (政策の目指すべき成果)

子どもを持ちたいと願う人誰もが、家庭や地域の人々に支えられながら、子育てしやすい職場環境などのもとで、安心して子どもを産み育てることができること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 家庭における子育てへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て支援・相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 子育て親子の交流の場となり、育児相談・指導に応じる子育て支援拠点の充実（地域子育て支援センター、とやまっ子子育てミニサロンの設置促進） • 子育てに関する情報提供、相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 〔・24時間電話相談やカウンセリング、電子メール相談など相談体制の充実〕 〔・パンフレットやインターネット、携帯電話などを活用した情報提供の促進〕 ■ 子どもの権利の尊重と虐待の防止 <ul style="list-style-type: none"> • 子ども自身や親を含む社会全体を対象とした、子どもの権利に関する啓発活動の推進 • 人権や心の教育の推進（再掲） • 子どもとやま県議会など、子どもが自分の意見を表明する場づくり • 児童虐待の予防・早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> 〔・育児不安や虐待・いじめ等の問題に早期に対応するための相談体制の整備（児童相談所への心理ケア職員の配置など） 〔・市町村による要保護児童対策地域協議会の設置促進 〔・養育が困難な家庭に対する訪問・支援 〔・関係機関・住民などの連携による早期発見の取組みの促進 • 被虐待児等の保護及び家族関係の建て直し支援 • 県児童相談所の機能強化及び市町村における児童相談体制の充実支援 ■ 多様な保育サービス等の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 保育の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> 〔・保育士、調理員等の養成・確保と研修等による資質の向上〕 〔・福祉サービス第三者評価の普及促進〕 • 多様な保育サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> 〔・適正な定員の確保や定員の弾力運用について市町村を指導 〔・延長保育、一時保育、休日保育、病後児保育などの推進 <ul style="list-style-type: none"> ※延長保育を実施する保育所数 【H17：158か所→H23：219か所】 ※一時保育を実施する保育所数 【H17：93か所→H23：113か所】 〔・「認定こども園」など幼保連携の促進 〔・幼稚園の預かり保育の充実 〔・放課後児童クラブの充実 ■ 子育て家庭の経済的負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> • 乳幼児等の医療費の助成、児童手当の支給、奨学資金の貸与 • 多子世帯に係る経済的負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> 〔・市町村による保育料の軽減への支援 〔・がんばる子育て家庭支援融資の実施（大学生等の子どもを持つ多子世帯への低利融資） 〔・多子世帯住宅の改良に係る資金融資

重点施策	主な事業等
<p>(2) 地域全体による子育て支援の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民による子育て支援の促進 <ul style="list-style-type: none"> • 「とやま子育て応援団」の展開 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 毎月第3日曜日「とやま県民家庭の日」から始まる1週間「とやま家族ふれあいウィーク」を中心に企業や商店街の協力を得てサービス展開〕 • とやまっ子さんさん広場の設置促進（地域住民やNPOによる自主的な子どもの居場所づくりの支援） • 地域の子育てを支援する人材の育成（シニア世代のボランティア人材の育成・活用） • 地域における相互援助活動の普及・利用促進 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ ファミリー・サポート・センターの設置促進 <ul style="list-style-type: none"> ※ファミリー・サポート・センター設置市町村数 【H17：11市町村→H23：15市町村】 ・ 小規模なファミリー・サポート・センターの設置支援〕 ■ 子どもの豊かな遊びと多様な体験活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 児童館、児童センター、ミニ児童館の整備促進 • 児童クラブ、母親クラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト活動の活性化 • 公民館等を中心にした地域の指導者による様々な体験活動や交流活動の促進
<p>(3) 安心して子どもを生み育てることができる生活環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全で安心な妊娠・出産の支援 <ul style="list-style-type: none"> • 妊産婦への保健指導の充実 • 厚生センターにおける電話や面接での相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 生涯を通じた女性の健康支援事業 ・ 個別相談の充実による母の心のケア推進〕 • 不妊治療体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 不妊専門相談センター（県立中央病院）や厚生センターにおける相談体制の充実 ・ 不妊治療費に対する一部助成の実施〕 • 高度な医療を必要とする新生児・妊産婦に対応するため、県立中央病院を核として周産期医療体制等を充実 ■ 子どもの健康づくりの支援 <ul style="list-style-type: none"> • 乳幼児健康診査や保健指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 未熟児を対象とする訪問指導や発達相談の実施 ・ 市町村が行う新生児訪問や乳幼児健診への支援〕 • 小児科救急医療体制の充実と医療従事者の確保 • 健康な生活習慣づくりの推進（訪問指導の実施や健康診査の受診促進） • 思春期保健に関する情報提供、相談・教育体制の充実及び学校保健との連携 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 携帯電話やインターネット等を用いた情報提供 ・ 小中学校への講師派遣による心身の健康教育 ・ 医療、教育など思春期保健関係者の相互連携〕 ■ 子どもを事故や犯罪から守る安全対策の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 交通安全教育の推進と交通安全対策の実施 • 自主防犯パトロール活動に対する支援 • 学校、家庭、地域、警察等関係機関の連携による地域ぐるみの防犯体制整備

重点施策	主な事業等
<p>(4) 子育てと両立できる職場環境の整備</p>	<p>■ 子育てを応援する職場の意識づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一般事業主行動計画の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事と子育て両立支援推進員の中小企業訪問による策定支援や各種情報提供 <li style="padding-left: 20px;">※仕事と子育て両立支援推進員の派遣回数（累計） 【H17：400社→H23：2,500社】 ・ 職場における子育て研修への講師派遣や県の広報誌を活用した普及活動 ・ 事業主を含めた職場全体の意識改革を促すためのセミナーの開催 • 中小企業の子育て支援を促進する取組みへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事と子育ての両立に積極的に取り組む企業の顕彰 ・ 一般事業主行動計画策定研修会の開催 ・ 入札参加資格における優遇措置の導入 ・ 一般事業主行動計画策定企業の県ホームページによる紹介 ・ 子育て支援に取り組む中小企業に対する人材確保支援 • NPO等が行う地域フォーラム、セミナー等に対する開催支援 <p>■ 育児休業制度や子育てしやすい制度の定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕事と子育て両立支援推進員の企業訪問による制度の紹介や就業規則の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 父親の子育て参加の推進（育児休業の取得促進、父親の子育て参加体験事例集の作成など） ・ 育児休業を取得しやすくするための就業規則の整備促進 ・ 企業向けの子育て支援パンフレット等を活用した育児休業制度の周知 • 子育て支援に積極的に取り組んでいる企業の事例紹介（育児・介護休業法の規定を上回る積極的な取組みを行っている企業を優良事例として紹介） • 事業所内保育施設の設置促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模な事業所内保育施設の設置・運営に対する助成 ・ 保育施設、授乳室など育児に関する施設を設置した中小企業への低利融資 ・ 複数企業による共同設置に対する支援 • 子育てを応援する国・県の各種助成制度に係る情報提供と活用促進 <p>■ 男性も含めた働き方の見直しや再就職の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子育てに配慮した労働時間や休暇等の普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノー残業デーの実施などによる労働時間短縮の促進 ・ 年次有給休暇の取得促進 ・ 子育て期の多様な勤務形態の導入促進 • 再就職・再雇用等の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産や子育てを機に退職した者に対する再就職支援 ・ 再就職に備えた職業能力開発の支援、相談や情報提供の実施 ・ 事業主に対する再雇用制度の啓発
<p>(5) 生命の尊さの啓発と若者の自立の促進</p>	<p>■ 生命の尊さや結婚、子育ての意義等について学ぶ機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 保育体験など中高生が乳幼児とふれあう機会の充実 • とやまの恵まれた子育て環境について学び、将来の家庭生活について考える機会の充実 • 結婚や子育ての意義、喜びに関する意識啓発、出会いの機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女の出会いを支援するサポーターの募集・登録、ネットワーク化 ・ 男女の出会いの場を提供するイベント情報の提供 ・ 若者が主体となった、出会いと交流の場を創る活動への支援 <p>■ 若者の職業教育や就業支援（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「社会に学ぶ14歳の挑戦」やインターンシップの実施 • ヤングジョブとやまにおける就業支援 • フリーターやニート等の若者の自立支援

2 家庭や地域における健やかな子どもの育成

政策目標 (政策の目指すべき成果)

子どもたちが、家族や地域の人々との触れ合いのなかで、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、精神的に自立した若者に成長していくこと。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 家庭における健やかな成長の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本的な生活習慣の定着促進 <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの望ましい生活習慣を定着させるための普及啓発 • 地域と連携した食育活動の推進 (再掲) • 子どもの読書活動の推進 ■ 家族のふれあいの充実 <ul style="list-style-type: none"> • 市町村が実施する親子の自然体験活動への助成 • 三世代参加による料理教室の開催 (再掲) • 父親の子育てへの参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 父親の会などの活動支援 ・ 企業における家庭教育講座の開催 ・ 父親の子育て参加体験事例集の作成 (再掲) ■ 家庭教育に関する学習の促進 <ul style="list-style-type: none"> • 家庭教育に関する情報紙の発行 • 家庭教育研究集会の開催 • 親の役割や家庭教育についての学習プログラムの作成と普及 • 学習リーダー養成のための研修実施 ■ 相談・支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> • インターネットを活用した情報提供 • 電子メール相談・24時間電話相談、専門家によるカウンセリングの実施 • 児童相談所、家庭児童相談室 (厚生センター) における育児・しつけ等に関する相談受付 • 子どもからの電話やメールによる悩み相談の受付
(2) 地域での豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの居場所づくり、遊びや活動の場づくり <ul style="list-style-type: none"> • 放課後子ども教室、放課後児童クラブ、とやまっ子さんさん広場の設置促進 • 地域住民の協力による子どもの勉強、スポーツ・文化活動、交流活動の実施 • 県内における児童の放課後対策を検討する委員会の設置 • 指導者合同研修の実施 ■ 子どもの遊びや体験活動の充実 (再掲) <ul style="list-style-type: none"> • 児童館、児童センター等の整備促進 • 特色ある遊びや体験活動の促進 • こどもみらい館における遊びながら学ぶ活動の促進 • 子どもの地域活動の指導者養成、派遣指導の実施 ■ 地域との連携による体験活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 青少年教育団体等による子どもの体験活動の推進 • 中学生の職場体験や福祉・ボランティア活動等の推進 (再掲) • 高校生のインターンシップ活動の推進 (再掲) • 子どもと高齢者など異世代間のふれあい交流の推進 (地域探訪など)

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年教育施設の活用 <ul style="list-style-type: none"> • 異年齢集団での合宿体験を通じた自主性、協調性、社会性の涵養 ■ 子育てサークルの相互連携 <ul style="list-style-type: none"> • 子育て中の親の交流活動に対する支援とサークル間の連携促進
<p>(3) 社会全体による青少年の健全育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家族の絆を深める全県的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> • 「とやま県民家庭の日」（毎月第3日曜日）の普及（作文、図画、ポスターのコンクールの実施） • 「とやま家族ふれあいウィーク」（「とやま県民家庭の日」から始まる1週間）の普及（とやま子育て応援団（子育て家庭応援優待制度）の活用を通じた家族のふれあいの促進） ■ 青少年の健全育成を図る県民運動の展開 <ul style="list-style-type: none"> • 青少年育成富山県民会議の運営 • 青少年育成県民運動推進指導員の配置 • 心のふれあいあいさつ運動の実施 • 街頭啓発活動の実施 ■ 富山県人づくり財団に対する支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 元気で創造性豊かな子どもの育成を図る各種事業の実施支援 ■ 青少年健全育成審議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> • 有害図書等の指定に係る意見の答申 • 青少年の健全育成に係る施策の調査審議や提言 ■ 青少年健全育成条例に基づく有害環境の浄化 <ul style="list-style-type: none"> • 青少年保護育成条例の改正に伴う周知 • 有害図書等の指定 • 立入調査の実施 ■ 少年非行の防止 <ul style="list-style-type: none"> • 少年補導センターの運営支援（少年補導委員等合同研修会の開催支援） <p style="margin-left: 40px;">※少年補導委員による街頭補導実施回数 【H17：2,048回→H23：2,300回】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 少年への接し方等をまとめた冊子の作成、巡回講座の実施 • 少年サポートセンターにおける非行や交友問題についての相談対応

3 義務教育等の充実

政策目標 (政策の目指すべき成果)

小・中学校では、生涯にわたる人間形成の基本と将来の自立に必要な力を培い、個性と創造性を伸ばす教育が行われていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 富山の教育の継承と創造	<p>■ 教員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 経験や職責に応じた教員研修の実施（初任者研修、中堅教員研修、管理職研修など） 学校現場のニーズに応じた専門研修、職務研修の実施（外国人児童生徒教育実践講座、カウンセリング講座など） 学校の要請に応じた指導主事・研究主事の派遣、教員相互の校内研修の促進 <p style="text-align: center;">※互見授業（他の教員に授業を公開し研究協議を行うもの）の教員一人当たりの実施回数 【H18：小 1.8回 中 1.5回→H23：小 2.3回 中 2.0回】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣 <p>■ 郷土学習、体験学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業体験、自然体験、職場体験など、教室を離れて行う多様な体験学習の充実 郷土の歴史、文化財や伝統芸能の学習の推進 <p>■ とやま型学校評価システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評価システムの導入による全校体制、地域との連携を密にした教育活動、学校運営の工夫改善 目標設定、評価分析への全教職員の参画による組織マネジメント能力の向上 <p>■ 教員が児童生徒と向かい合いやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校パワーアップ推進会議の開催 自己申告、自己評価を取り入れた教員評価制度の実施 <p>■ 教育研究に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種教育研究団体の研究事業に対する助成
(2) 確かな学力の育成	<p>■ 基礎学力の定着と向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果の分析・活用 <ul style="list-style-type: none"> 学校改善や授業改善につなげる実践研究の実施 県内教育諸団体と連携した事業の実施 理科支援員などの小学校への配置による理科教育の充実・活性化 自学自習力を育てる実践記録集の活用促進 指定拠点小学校における小学校英語活動の推進及び成果の普及 漢字・計算・英単語などの定着を支援する学習プリント集の活用促進 中学3年生を対象とする県立高校での学びの体験活動の実施 優れた指導法や授業実践例のデータベース化 <p style="text-align: center;">※コーリックス（優れた授業実践例データベース）の登録件数（累計） 【H17：1,643件→H23：4,500件】</p>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 少人数教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 少人数指導に要する教員の配置 • ティーム・ティーチングの推進 ■ 学習指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 教育実践に優れた現職・OB教員の小・中学校への派遣 • 教員志望大学生を学習補助者として小・中学校へ配置 • 小・中学校における授業力向上対策の推進（教育研究団体による外部アドバイザー招へいに対する支援など） • 小1プロブレムに対応するための幼・保・小合同研修の実施
(3) 健やかな心と体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ いじめや不登校に対する幅広い取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> • いのちの教育の推進 • いのちの大切さを学ぶ体験活動、長期宿泊体験の実施 • 児童生徒自身による自己点検活動の実施 • 相談・カウンセリング体制の充実（再掲） • 不登校の児童生徒の支援に取り組むNPO等との連携 ■ 児童生徒の不安や悩みに対応する相談・カウンセリング体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 教員カウンセラーの養成 <p style="margin-left: 40px;">※教員カウンセラー延べ養成数 【H18：38人→H23：63人】</p> • スクールカウンセラーなど、カウンセリング専任担当者の配置 • 教員志望または心理系の大学生・院生を児童生徒の相談相手として小・中学校へ派遣 • 民生児童委員など地域の大人の協力による小学校児童の相談指導 • 教育事務所などの相互連携による不登校児童生徒への対策の実施（相談員による家庭訪問など） • 学校での重大事件・事故への対応の支援（臨床心理士など専門スタッフの派遣） ■ 社会性を伸ばす教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業」や農業体験など就労体験の推進 • ものづくり体験の実施（伝統工芸を学ぶものづくり・デザイン教育など） ■ 学校における健康管理指導 <ul style="list-style-type: none"> • 学校給食を通じた食育（地場産食材の活用など） • 医療機関等との連携による健康教育 ■ 児童生徒の体力向上（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 体力づくりノートの記録を通じた運動習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> 〔・学校における業前・業間運動の推進〕 〔・学校、家庭、地域が連携した体力向上の取組みの推進〕 • 学校体育、運動部活動の充実 ■ 文化活動の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 県中学校文化連盟への支援（県中学校文化祭の開催に対する助成） • 児童生徒による文化活動の奨励 • 児童生徒の芸術鑑賞・体験の充実（学校巡回劇場開催への支援）

重点施策	主な事業等
<p>(4) 特別支援教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> • 幼児期からの教育相談、就学相談の実施 • 発達障害を含め障害のある児童生徒を支援するスタディメイト（特別支援教育支援員）の養成・研修 • 豊かな知識・経験を有する教員による小・中学校などへの巡回指導体制の整備 • 特別支援学校における医療的ケア体制の整備 • 就学に対する援助（特別支援教育就学奨励費、スクールバスの運営） ■ 地域との連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> • 富山型デイサービス、NPOなどとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 富山型デイサービスや特別支援学校の関係者による連携協議会の開催〕 〔・ 障害のある児童生徒の地域での活動場所の確保〕 • 医療・福祉機関などとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 児童生徒ごとの個別の教育支援計画の作成〕 〔・ インターンシップの機会拡大、就業先の開拓〕 ■ 教育環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 複数の障害に対応できる新しいタイプの学校への見直し • 校舎、施設設備などの適切な維持管理 ■ 共生・共育の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 特別支援教育に関する啓発資料の作成配付 • 近隣の小・中学校や地域社会との交流及び共同学習の推進 • 特別支援学校分校などの小・中・高等学校への設置の検討
<p>(5) 県民みんなで育てる教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域や大学との連携（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 地域の事業所などとの連携による「社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業」の実施 • 地域の大人の協力による小学校児童の相談指導 • 中学校の運動部活動への地域の優れたスポーツ指導者の派遣 • 教員志望大学生などを学習補助者、相談相手として小・中学校へ派遣 • 教員OBや大学院生などを理科支援員として小学校に配置 • 現職教員の地元大学院などへの研修派遣 • 地域住民や保護者等を委員とした学校評議員制度の導入促進 <p style="text-align: center;">※小・中学校における学校評議員制度の導入割合 【H18：小 67.8% 中 77.1%→H23：小 85% 中 85%】</p> ■ 児童生徒の安全確保（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 学校への不審者の侵入防止対策の推進 • 地域の協力による児童生徒の登下校時の安全確保 ■ 幼児教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 互見授業や共同研究など、幼・保・小の連携による就学前教育の充実 • 幼児教育に関する相談体制の充実 • 保育料軽減を行う市町村への助成 • 私立幼稚園における特色ある教育の推進

4 | 高等学校教育の推進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

高校では、自らの将来を切り拓いていくための、確かな学力、規範意識や社会性とともに、社会に積極的に貢献しようとする意欲と態度を身につける教育が行われていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 高校教育改革の推進と教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県立高校のあり方の見直し <ul style="list-style-type: none"> • 定時制・通信制教育、特別支援教育を含めた県立学校の将来計画の検討 • 新しいタイプの高校、学科の検討（中高一貫教育校、ものづくりの中核校など） ■ 地元大学との連携促進 <ul style="list-style-type: none"> • 高校生による地元大学の講義受講の促進 • 地元大学教員による高校での出前講義の実施 • 現職教員の地元大学院への研修派遣 ■ 小中学校との連携協力 <ul style="list-style-type: none"> • 互見公開授業などの小・中・高の連携による教育活動の推進 • 中・高の教員による生徒指導連絡協議会の開催 • 中学3年生を対象とする県立高校での学びの体験活動の受入れ（再掲） ■ 教員研修の充実（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 経験や職責に応じた教員研修の実施（初任者研修、中堅教員研修、管理職研修など） • 学校現場のニーズに応じた専門研修、職務研修の実施（英語教員集中研修、理科実験実技研修、カウンセリング研修など） • 互見授業や考查問題等の検討等の教員相互の校内研修の促進 <ul style="list-style-type: none"> ※互見授業（他の教員に授業を公開し研究協議を行うもの）の教諭一人当たりの実施回数（全日制県立高校） 【H18：1.5回→H23：2.0回】 • 指導力不足の教員に対する研修の実施 • 内地留学、海外研修の実施 • 今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣 ■ 教育研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 教職員による自主的な研究・学習への支援 • 学習指導要領の趣旨の徹底 ■ 教員が生徒と向かい合いやすい環境づくり（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 学校パワーアップ推進会議の開催 • 自己申告、自己評価を取り入れた教員評価制度の実施
(2) 自立する力を伸ばす教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎的な学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> • 理科、英語などの特定校における重点的な教育の実施 • 習熟度別学習、発展的な学習の実施 • 新入生に対するオリエンテーションの充実 • 添削指導や面接等の個々の生徒に応じた指導の充実

重点施策	主な事業等
	<p>■魅力ある学習活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学力向上、高大連携など各校の特色ある学習活動の支援 • 専門的な知識や高度な技能を有する外部指導者の招へい • 校内LANの整備など科学技術・情報教育の充実 • ディベートやプレゼンテーションの能力の伸長 • 語学指導を行う外国青年の招致等による国際理解教育の推進 <p>■相談・カウンセリング体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教員カウンセラーの養成 • カウンセラーの配置 • 生徒や教員にアドバイスを行う教育相談の専門家の派遣 • 生徒や保護者を対象としたセミナーの開催 • 学校での重大事件・事故への対応の支援（臨床心理士など専門スタッフの派遣） • 電話、インターネットによる相談対応や訪問相談の実施 <p style="text-align: center;">※教員を対象とする教育相談に関する校内研修会の1校当たり実施回数（全日制県立高校） 【H18：3.0回→H23：3.4回】</p> <p>■不登校生徒に対する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> • 弾力的なカリキュラムによる学習の継続に対する支援 • 不登校生徒の支援に取り組むNPO等との連携協力 <p>■進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教員を対象とする進路指導研修会の実施 • 自らの進路を学び考えるための教材の開発 <p>■障害のある生徒の社会参加や自立の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> • NPO等との連携による実社会での活動体験の促進 • 職業教育や進路指導の充実
(3) 社会人としての意識を高める教育の充実	<p>■社会性や規範意識の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボランティア意識の醸成と地域での実践体験への参加促進 • 街頭でのあいさつ運動や通学路の清掃活動などの実施 <p>■キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> • インターンシップ、保育体験・介護体験の促進 • 企業経営者や卒業生等による高校での講演や高校生の企業訪問の実施 <p style="text-align: center;">※企業から招へいした外部講師の1校当たり延べ人数（全日制県立高校） 【H18：23.7人→H23：25.7人】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 専門高校と地域の産業界との連携による、ものづくり人材など専門職業人の育成 <p>■実業教育の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農業高校等における生産実習の実施 • 実習船「雄山丸」による航海・操業実習の実施 • 商業高校での模擬株式会社の設立を通じた商品の開発・販売実習 <p>■異年齢交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 乳幼児とふれあう保育体験による人間関係能力の育成（再掲）

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツを通じた心身の健全育成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 体育教員、運動部活動指導者の資質向上 • 地域の優れたスポーツ指導者を運動部活動へ派遣 • 複数校による合同部活動の推進 ■ 文化活動の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 第36回全国高等学校総合文化祭富山大会（H24）の開催準備 • 県高等学校文化連盟への支援（県高等学校文化祭の開催、全国高等学校総合文化祭への参加に対する助成） • 生徒の芸術鑑賞・体験の充実
(4) 私立学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 私立高校等の特色ある教育に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> • 特色ある教育活動に対する助成（特色ある学科コースの設定、少人数教育、生徒指導・進路指導の充実、スポーツ・文化活動の振興、カウンセリング体制の充実など） • 経常費等に対する助成（経常費、教職員研修、授業料免除等への補助） ■ 私立専修学校、各種学校が行う多様な教育への支援 <ul style="list-style-type: none"> • 特色ある学校づくりの取組みに対する助成（キャリア形成、産学連携など） • 教育環境向上に対する支援（設備整備、教職員研修等への補助）
(5) 地域に信頼される教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域に開かれた学校運営 <ul style="list-style-type: none"> • 外部評価を含む学校評価の実施 • 学校評議員制度を活用した教育活動の改善 • 学校が持つ教育情報の積極的な对外公表 • 研修等を通じた学校の組織マネジメント力の向上 <p style="text-align: center;">※授業や学校行事を地域や保護者に公開した1校当たり延べ日数（全日制県立高校） 【H18：8.6日→H23：9.1日】</p> ■ 地域との連携の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 地域の産業界等との連携による専門職業人の育成 • 地域の優れたスポーツ指導者を運動部活動へ派遣 ■ 学校施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 校舎、施設設備等の適切な維持管理 • 教員執務用パソコンの整備（校内LANの有効活用、個人情報の適正管理） <p style="text-align: center;">※教員用パソコンの整備率（県立高校） 【H18：7.7%→H23：100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体育施設・用具等の整備 • 学習環境の改善、学校緑化の実施

5 | 大学教育・学術研究・科学技術の振興

政策目標 (政策の目指すべき成果)

大学等の高等教育機関を中核として、個性豊かで創造的な人材育成の拠点や、国内外に発信する学術研究の拠点が形成されているとともに、高等教育機関と連携した地域振興の取組みが幅広く進められていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 国立・私立大学等の教育研究体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学会の開催や研究の充実に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> • 富山コンベンションビューローが誘致する大規模な学会への助成 • (財) 富山県高等教育振興財団を通じた学会開催経費や若手研究者に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> ※富山県高等教育振興財団と富山コンベンションビューローが助成した学会数 【H17：19件→H23：30件】 • 県内大学院生への奨学資金の貸与 ■ 四年制私立大学における教育研究の充実支援 <ul style="list-style-type: none"> • 各私立大学に対する半期の寄附講義の設置 • (財) 富山県高等教育振興財団を通じた、学生確保や地域課題等の解決を目指す研究調査事業への助成 ■ 富山県大学連携協議会が行う各種事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> • 授業の内容・方法の改善（ファカルティ・ディベロップメント）への支援 • 「とやま学生フェスタ」の開催に対する助成
(2) 科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ (財) 富山県新世紀産業機構や県立試験研究機関の充実・活性化 <ul style="list-style-type: none"> • (財) 富山県新世紀産業機構を拠点とするプロジェクトチーム方式の研究開発の推進 • 県立試験研究機関の施設設備の充実 • 企業や大学との連携強化などによる研究開発の推進 ■ 重点研究分野における研究開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 県立試験研究機関や県立大学における重点的な研究の実施 • 県内企業等の重点分野研究に対する助成 ■ 若手研究人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> • ノーベル賞受賞者など一線級の研究者からの指導・助言による人材育成 • 学術研究、発明発見等の分野において将来的な活躍が期待される若手人材に対する人づくり財団による「とやま賞」の授与 ■ 科学技術に対する理解促進 <ul style="list-style-type: none"> • 科学技術イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 県立試験研究機関や県立大学における体験を通して科学技術に親しむイベントの開催〕 〔・ 県内の大学、科学館、博物館等における科学技術関連イベントの開催〕 • 県立試験研究機関、県立大学、民間の研究者による小中学校、高校での体験型実験や講義の実施

重点施策	主な事業等
<p>(3) 高等教育機関による地域連携の取組みへの支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産学官連携の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 産学官連携の窓口となる専任のコーディネーターの設置 • コーディネーターや企業の協力組織を活用した連携強化 <p style="text-align: center;">※県立大学における県内企業との共同研究件数 【H17：27件→H23：40件】</p> ■ 社会人の大学・大学院への受入れ <ul style="list-style-type: none"> • 社会人特別選抜制度の充実による社会人学生の受入れ促進 • 県立大学における社会人研究生制度（論文準修士制度）による社会人のキャリアアップや再チャレンジの支援 ■ 地域住民とのつながりを深める取組みの促進 <ul style="list-style-type: none"> • 学生防災ボランティアの養成促進 • 合同学園祭「とやま学生フェスタ」の開催支援（再掲） • 地域に開放して行う県立大学「ダ・ヴィンチ祭」の開催 • 科目等履修生制度や県民開放授業による県民の生涯学習意欲への対応 ■ 富山県大学連携協議会の機能強化支援 <ul style="list-style-type: none"> • 高等教育機関の新たな連携強化に向けた取組みに対する支援
<p>(4) 県と富山大学などとの連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の知の拠点としての地域貢献の推進 <ul style="list-style-type: none"> • アートマネジメント実習としての利賀フェスティバル等の活用 • 美術館の企画展のワークショップの開催や鑑賞プログラムの開発 • 学生災害救援ボランティアの養成支援（再掲） ■ 経済活性化につながる連携協力（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 県試験研究機関との連携による先端研究の支援や共同研究の実施 • 富山大学のTLO(技術移転機関)を中心とした技術移転の促進 • 医薬に関する研究の委託や医薬品の開発支援 • 地場産業と連携した大学のデザイン開発や技術協力の取組みへの支援 ■ 教育分野における連携（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 現職の小中高教員を富山大学大学院へ研修派遣 • 教員志望大学生を学習補助者として小・中学校へ配置 • 教員志望及び心理系の大学生や大学院生を児童生徒の話し相手・相談相手として小・中学校へ派遣 ■ 医療・看護人材の育成・確保における連携 <ul style="list-style-type: none"> • 医学部入学試験の地域枠設定や看護学科の定員増 • 県内看護師養成施設における教員・学生への研修の実施
<p>(5) 県立大学の教育研究体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゆきとどいた教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> • 少人数教育の一層の促進 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 全学年にわたる少人数ゼミの開講 〔・ 一般科目（講義、外国語、実験・実習等）における少人数クラス編成〕 • 単位不足者等に対する個別指導 • パソコンを活用した学習支援（教員・学生間の質問・応答、レポートの提出・受理、予習復習、自主学習、e-ラーニング等）

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■学部・大学院を通じた一貫教育体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> •学部・大学院（博士前期課程）の6年一貫教育を意識した体系的な教育カリキュラムの編成 •学部生による大学院科目の履修と大学院入学後の単位認定 ■キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> •キャリアセンターを拠点とする組織的・体系的なキャリア形成支援 •教育カリキュラムにおけるキャリア形成科目群の導入 •インターンシップの促進 •卒論テーマ公募事業など実践的な教育研究活動の推進 •総合的なキャリア活動実績評価システムの導入（キャリア形成に資する学生の多様な自発的活動（ボランティア、学外学習、資格取得等）に対する評価システム） •学生のキャリア形成活動を記録したキャリアパスポートの発行 ■社会ニーズに対応した研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> •先端技術、環境・資源、人間を重点課題とした研究の推進 •競争的研究資金の受入れや共同研究、受託研究などによる研究の推進 <p style="margin-left: 40px;">※県立大学の外部資金受入れ件数 【H17：123件→H23：180件】</p> ■多様な評価制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> •公的機関による外部評価の実施、認証評価の受審 •学生による授業評価の実施 ■短期大学部（環境システム工学科）のあり方の検討 <ul style="list-style-type: none"> •短期大学部のあり方に関する検討会の設置

6 | 生涯をととした学びの推進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

誰もが一人ひとりの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 多様な学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> • インターネット、CATVなどによる在宅学習の普及（インターネット市民塾の利活用の推進など） • 映像情報を活用した学習活動の支援（県映像センターによる貴重映像の収集・保存など） • 県民生涯学習カレッジの運営 ■ 社会教育施設の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> • 図書館の機能充実 〔・子どもと本の講座など地域ニーズに応じた学習機会の提供〕 • 公民館を中心とした地域の持つ優れた力を再構築する活動の推進 〔・自然体験活動や文化伝承活動の実施 ・子どもから高齢者までの三世交代地域探訪等の実施〕 • 美術館・博物館における美術講座やワークショップなどの開催（再掲） • 埋蔵文化財センターにおける一般県民や子どもを対象とした体験教室や講座等の開催（再掲） ■ 大学等における公開講座の充実支援 <ul style="list-style-type: none"> • 各大学等による公開講座等の開催促進 • 県立大学における一般県民を対象とする公開講座、県民開放授業（オープン・ユニバーシティ）の開催 • 専門職（看護師、保育士、エンジニア等）を対象とする大学等の講座・セミナーの充実支援 ■ 日本海学の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 日本海学講座、シンポジウムの開催 • 出版物の刊行やホームページによる情報発信 ■ 学習成果の地域への還元への促進 <ul style="list-style-type: none"> • 学習の成果を発表する場の充実支援 • 学習の成果を活かしたボランティア活動等の推進 〔・自遊塾におけるボランティア講師の活用 ・講座修了者のボランティア登録・派遣〕
(2) 県民の学習を支える基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ ITを活用した学びの推進 <ul style="list-style-type: none"> • とやま学遊ネットによる学習情報の体系的な収集、提供 • インターネット市民塾の利活用の推進（再掲） ■ 学びを支えるネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> • 市町村や高等教育機関、民間事業者等との連携・相互協力（県民生涯学習カレッジ地区センターを中心とした広域学習圏ネットワーク連絡会議の開催） ■ 学習グループの育成とネットワーク化 <ul style="list-style-type: none"> • 主体的に学習活動に取り組むグループの掘り起こし、育成

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習活動を支えるボランティア、リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> • 生涯学習の指導者・リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 県民の地域における学習活動を支えるボランティア指導者を育成するセミナーの実施〕 〔・ ボランティア指導者への実践活動の場の紹介〕 • 講座修了者の生涯学習ボランティアとしての活動促進 ■ 社会教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 研究大会、指導者研修会等の開催 • 社会教育関係団体の活動の支援 • 人権教育に関する研修会の開催 ■ 県立図書館の機能充実 <ul style="list-style-type: none"> • 利用者ニーズに対応した電算システムの導入と図書館貸出予約等に係る電子申請手続きの整備 • 図書、逐次刊行物等の整備と閲覧、貸出等のサービスの提供 • 富山県関係の新聞雑誌記事の収集とデータベースの構築 • 富山県に関する貴重書等の資料の調査、収集
(3) キャリアを磨く実践的な学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大学等におけるリカレント教育の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 社会人特別選抜制度の充実による社会人学生の受入れ促進 • 県立大学における社会人研究生制度（論文準修士制度）による社会人のキャリアアップや再チャレンジの支援 ■ ライフステージに応じた能力開発の支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 自発的な職業能力向上のための技能習得や資格取得への支援 • 在職労働者が知識、技能を追加習得するための職業訓練の実施 ■ 専修学校等におけるキャリア形成教育の充実支援 <ul style="list-style-type: none"> • 社会のニーズに対応し、専門的教育に取り組む専修学校等への支援

7 自主的な社会活動の推進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

NPOやボランティアが幅広い人々の参加のもと、地域社会や公共サービスの新たな担い手として、様々な分野において活発に活動していること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 地域貢献に取り組むNPO法人の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ NPO法人制度の普及啓発や法人設立への支援 <ul style="list-style-type: none"> • NPO法人設立講習会、NPO入門をテーマとする県民向けNPO公開講座の開催 • NPO法人支援税制による税負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> 〔・一定の要件を満たす場合に、法人県民税均等割、不動産取得税、自動車取得税について全額減免、自動車税について課税を免除〕 ■ 先駆的な活動や地域の課題に対応した活動を行うNPOの支援 <ul style="list-style-type: none"> • 先駆性・創造性を発揮し、魅力ある地域づくり活動を提案・実施するNPOへの助成 • 県民参加型の啓発・交流活動を提案・実施するNPOへの助成 • コミュニティビジネスに取り組むNPOへの融資（再掲） • 地域における子育て支援活動を実施するNPOへの助成（再掲） • 富山型デイサービス事業を行うNPO法人等の施設整備等に対する助成（再掲） ■ NPOのマネジメント力の強化支援 <ul style="list-style-type: none"> • 組織運営力の向上を図るためのマネジメント研修、労務講座の実施 • 会計事務能力強化を図るための会計税務集中講座、会計税務相談の実施 • NPOマネジメントサポーターによるNPOの事務サポート <ul style="list-style-type: none"> 〔・企業や官公庁の退職者で、会計等の知識をNPO活動に活かしたい方をサポーターとして登録し、NPOの事務を支援〕 ■ NPOに関する情報提供や活動事例の紹介 <ul style="list-style-type: none"> • NPO情報の収集・提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> 〔・インターネットを活用した、研修や民間の助成・融資制度等の情報提供〕 〔・NPO情報やイベント開催、ボランティア募集等を発信する情報サイトの充実〕 • 各種講習会やガイドブックでの活動事例紹介 ■ NPOが活動しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> • 県民ボランティア総合支援センターの運営助成 <ul style="list-style-type: none"> 〔・NPO支援の拠点である県民ボランティア総合支援センターによるNPO支援、ネットワーク促進の取組みやセンター運営に対し助成〕
(2) NPOと行政との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協働事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 県政の課題等について、NPOから企画提案を公募し、協働事業を実施 • 情報誌、県広報番組、事例集等による県や市町村等の協働の事例紹介 • 地域における子育て支援活動を提案・実施するNPOとの協働（再掲） • 都市と農山漁村との交流事業を行うNPOとの協働（重点地域に指定された地域で交流の取組みを担うNPO活動を支援）（再掲） • 土砂災害に関する防災の普及を行うNPOとの協働（再掲） <p style="text-align: center;">※NPO法人やボランティア団体と県との協働事業数 【H17：23事業→H23：35事業】</p>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■協働の理解促進 <ul style="list-style-type: none"> • NPOの政策提言力向上や協働等をテーマとする県民向けNPO公開講座の開催 • NPO関係者の協働意識の向上とリーダーの育成を図るセミナーの開催 • 協働をテーマとした県・市町村の行政職員向け研修の実施 ■協働相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 協働に関する情報提供と相談、コーディネート <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 県に協働総合窓口を設置 〔・ 県民ボランティア総合支援センターに協働相談窓口を設置し、相談に対応する協働コーディネーターを配置 • 庁内行政連絡会議等による全庁的な協働の推進
(3) ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティアに関する普及啓発や情報提供 <ul style="list-style-type: none"> • ボランティアの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ ボランティア意識の啓発と県民やボランティアの交流のため、表彰、講演、活動紹介などを行うボランティア大会等、普及啓発イベントを開催 〔・ 思いやりの心を育む幼児向け福祉絵本の発行 • ボランティアに関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 情報誌、ボランティアガイド、インターネットなどを通じたボランティア活動の紹介や情報提供 ■団塊世代のボランティア参加促進と活動支援 <ul style="list-style-type: none"> • アクティブシニアの支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 団塊世代のボランティア活動等に関する意識調査の実施 〔・ 地域デビューを促す講演会や講座の開催 〔・ 市町村社会福祉協議会における団塊世代向けのボランティア相談窓口の設置支援 ■県民の幅広いボランティア参加促進と活動支援 <ul style="list-style-type: none"> • 小・中・高校等の児童・生徒を対象とする、ボランティアの理解と関心を深めるための体験学習や講演会の実施 • 一般県民を対象とした、ボランティアの基礎知識等を学ぶ講座の開催 • 大学・短大・専修学校等の学生や勤労者のボランティアグループ等が取り組む活動に対する助成 ■体系的なボランティア研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> • 市町村ボランティアコーディネーターの資質向上を図る研修の実施 • 地域のボランティアリーダーや、ボランティアグループとの連絡調整を行うボランティアサポーターの資質向上を図る研修の実施 • 福祉ボランティアとの連携を図るための受入施設職員研修の実施 ■多様な分野における専門ボランティア研修の実施と活動支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 「とやまの森づくりサポートセンター」による森林ボランティアの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 活動グループのネットワーク化、情報の提供、人材育成のための技術研修等〕 • 地域ぐるみで子育て家庭を支援するボランティア活動の推進 • ナチュラリストによる自然保護思想の普及啓発、ナチュラリスト養成講座の開催 • 小中学校における学習等に関するボランティア活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 大学生等による児童生徒の学習補助、相談相手としての活動〕 〔・ 学習障害児等への学習支援活動〕 • 環境保全に取り組むボランティアの支援

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> • 健康づくりに関するボランティア（ヘルスボランティア、食生活改善推進員、母子保健推進員等）活動への支援 • 道路愛護ボランティアの登録、活動環境の整備 • 観光ボランティアの育成 <p>■ ボランティアの活動・交流拠点の機能充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボランティアの交流や活動の拠点として利用できるボランティア交流サロンの充実 • 県社会福祉協議会によるボランティアセンターの運営や県ボランティアコーディネーターの設置に対する助成 • 地域のボランティア支援の中核となる市町村ボランティアセンターによるコーディネート活動等に対する支援 <p>■ 災害救援ボランティア活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 災害関係機関との連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内のボランティアセンター、関係機関等で構成する県災害救援ボランティア連絡会の開催 ・ 市町村における災害救援ボランティア体制整備への支援 • 災害救援ボランティアコーディネーターの養成研修 <p style="margin-left: 40px;">※災害救援ボランティアコーディネーター養成数 【H17：50人→H23：170人】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 災害時を想定したボランティア本部の運営や救援ボランティア活動の訓練の実施

8 | 男女共同参画の推進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

男女を問わず誰もが、家庭、職場、地域などあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、社会の対等な構成員として、共に責任を担っていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 女性の参画の拡大とチャレンジ支援機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画推進体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 審議会等における女性委員の参画促進 ● 県行政、教育分野における女性管理職の登用促進と職域の拡大 <p style="margin-left: 40px;">※県(知事部局)における女性管理職の登用状況 【H18: 5.5% (全国9位) → H23: 全国上位(10位以内を目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画審議会及び男女共同参画推進会議の開催 ● 男女共同参画計画のフォローアップ(富山県の男女共同参画(年次報告書)を毎年度発行) ● 男女共同参画に関する調査研究の実施 ■ 民間事業所における女性管理職の登用促進 <ul style="list-style-type: none"> ● 積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の要請 ● 優良事例の情報提供による普及啓発 ● 女性管理職の登用促進と資質の向上を図るための民間女性管理職ネットワーク会議の設置と女性オフィスリーダー研修の開催 ● 女性の活用に積極的に取り組む企業の顕彰 ■ 女性のチャレンジ支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 富山県民共生センター内のチャレンジ支援コーナーにおける相談機能の充実 ● 再就職を目指す子育て後の女性のための就業支援セミナー等各種講座の充実 ● チャレンジ支援連絡協議会の開催による効果的な支援体制の構築 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成機関: (社)富山県経営者協会、(財)富山県新世紀産業機構、(財)21世紀職業財団富山事務所、富山県農業会議、富山労働局など ・ 役割: 情報のワンストップ・サービス化の推進、効果的なチャレンジ支援策の検討、支援体制の整備など </div> ● チャレンジ支援サイトの開設など情報提供の充実 ■ 女性の起業等への支援(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ● 創業、新分野進出等を目指す女性等を育成・支援するとやま起業未来塾の開催 ● SOHO(在宅起業)やコミュニティビジネス(地域貢献型事業)などへの支援 ● NPO法人設立に対する支援 ● 農村女性の意欲的な起業活動に対する支援 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及指導員による起業活動に対する指導助言 ・ 経営管理能力向上のための講座・研修の開催 ・ 新商品開発や事業拡大に対する活動支援 </div>
(2) 男女共同参画の意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 富山県民共生センター(サンフォルテ)の機能充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画に関する情報の収集・提供や相談対応 ● 関係団体のネットワークの充実・強化 ● 女性のエンパワーメント推進のための講座や研修会の開催 ● 家事応援講座、家庭教育講座など男性向け講座の充実

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> •男女共同参画推進員による普及啓発活動の促進 •男女共同参画週間（毎年6月23日～29日）における啓発イベント「サンフォルテ・フェスティバル」の開催 •女性団体連絡協議会の企画によるウィメンズフェスティバルの開催 •地域ごとのきめ細やかな啓発を図るための男と女のパートナー会議の開催 ■制度や慣行の見直し <ul style="list-style-type: none"> •男女共同参画に関する意識調査の定期的な実施 •旧姓使用制度の県職員における周知と民間事業所への普及 ■男女平等に関する学校教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> •児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育や性教育等の推進 •教職員に対する研修の充実
(3) 配偶者等からの暴力の防止及び被害者保護対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■女性への暴力を許さない社会づくり <ul style="list-style-type: none"> •女性への暴力根絶キャンペーンの実施 •啓発パンフレットの作成・配布やDVをテーマとする公開講座の開催 •DV実態調査の実施とDV対策基本計画（H17策定）の見直し •DV相談案内カード（5か国語）の作成、配布 ■DV被害者の保護・自立支援 <ul style="list-style-type: none"> •関係機関、民間団体等で構成する富山県DV対策連絡協議会の開催 •女性相談センターの移転改築 •被害女性を緊急に保護し、心身の健康の回復及び自立支援に向けた援助を行うための一時保護所の管理運営 •相談員の資質の向上及び相談体制の整備 •地域毎の配偶者暴力相談支援センターの設置促進 <p style="margin-left: 40px;">※配偶者暴力支援センターの設置数 【H18：1か所→H23：2か所】</p> •民間団体が行うDV被害者の自立支援事業に対する支援
(4) 職場における男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■企業における男女共同参画の推進 <ul style="list-style-type: none"> •男女共同参画チーフ・オフィサーの設置促進 <p style="margin-left: 40px;">※男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所数 【H18：52か所→H23：90か所】</p> •男女共同参画の推進に努めている企業を男女共同参画推進事業所として認証 •仕事と子育ての両立支援や男女の均等な機会と待遇の確保に積極的に取り組む企業の顕彰 •企業における男女雇用機会均等推進セミナーや出前講座の開催 •セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発 ■働き方の見直し（再掲） <ul style="list-style-type: none"> •ノー残業デーの実施などによる労働時間短縮の促進 •子育て期の多様な就業形態の導入促進（短時間勤務、フレックスタイム制など） •育児・介護休業の取得促進

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを生み育てやすい環境づくり（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 地域ぐるみによる子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ とやま子育て応援団（子育て家庭応援優待制度）の取組み ・ とやまっ子さんさん広場の設置促進 ・ ファミリー・サポート・センター制度の普及・利用促進 ・ シニア世代による子育て支援ボランティア活動の推進 • 地域子育て支援センター、とやまっ子子育てミニサロンなど子育てを支援する拠点の充実 • 一時保育や病後児保育など多様な保育サービスの充実 ■ 仕事と家庭生活の両立支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 中小企業における一般事業主行動計画の策定支援 • 事業所内保育施設の整備促進 • 父親の子育て参加の促進 • 女性医師のキャリア維持、向上への支援 ■ 女性や母子の健康づくり（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 女性の健康支援センター（厚生センター内）における女性特有の健康に関する相談対応 • 母子保健推進員の資質向上のための研修会の開催 • 母子保健研修会・検討会の実施 • 健康や育児に関する電話相談や面接相談の実施 • 産婦人科医の確保や周産期保健医療体制の充実

9 | 若者や中高年世代の活躍の場の拡大

政策目標 (政策の目指すべき成果)

若者や団塊世代のUターン・Iターンやフリーター対策が進み、若者、中高年世代が、地域社会の一員として積極的な活動を行っていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) ニート、フリーター対策など若者の自立の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 富山県若者就業支援センター（ヤングジョブとやま）による若者の就業促進 <ul style="list-style-type: none"> • キャリアカウンセリングの実施 • 巡回相談や出張相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 定期的な巡回相談の実施 〔・ 就職関連イベントやショッピングセンター等に出張しての相談の実施〕 • 就職関連情報の提供 • 適職診断の実施 • 自立が遅れている若者を対象とした就業体験等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ NPO、企業等の協力を得てフリーター等の若者の就業体験や社会参加体験の実施〕 • 高校生等を対象とする就職支援講座（出前講座）、職場見学会の開催 ■ NPO等や関係機関との連携による若者の自立促進 <ul style="list-style-type: none"> • ニート等の若者の自立を支援する総合窓口（地域若者サポートステーション）の設置 • 若者自立支援ネットワーク会議（NPO、教育機関、経済団体、市町村等により構成）による地域ぐるみの若者の自立支援 ■ 企業経営者等に対する意識啓発 <ul style="list-style-type: none"> • フリーター等の非正規雇用者などを対象とする複線型採用の導入など、若者の雇用や人材育成についての企業経営者等への意識啓発の推進 ■ 職業意識の早期形成の促進 <ul style="list-style-type: none"> • 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業」の実施（再掲） • 高校生のインターンシップ活動の推進（再掲） • 大学生や短大生等のインターンシップ活動の推進 ■ 若者の職業能力開発支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 学卒者等の若者に対する職業訓練の実施 • 民間教育訓練機関等を活用した委託訓練の実施 • 施設内における基礎的な訓練と企業実習を組み合わせたデュアルシステム訓練の実施 ■ 起業家精神の醸成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 高校、大学等における企業経営者等による講演の実施 • 高校生、大学生等を対象とした企業見学会の実施 • とやま起業未来塾による若者の起業促進 ■ 若者のボランティア活動の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 高校におけるボランティア体験学習の実施 • 大学、短大等の学生が行うボランティア活動に対する助成

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 若者の主体的な社会活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> • 若者の活動拠点の設置と青年活動促進に対する支援 (21世紀とやま青年機構(WTA)への助成) • 若者による主体的な地域づくり活動等への支援 (若者が自ら企画し、実行する地域活性化の取組み等への助成) • 青年議会の開催 ■ 農林水産業の新規就業者の確保と育成(再掲) <ul style="list-style-type: none"> • 次代を支える新規就業者・青年就業者の確保、育成
(2) 団塊世代など中高年世代のチャレンジの促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 起業やNPO活動等へのチャレンジ支援(再掲) <ul style="list-style-type: none"> • NPO法人制度の普及啓発やNPO法人設立講習会の開催 • 先駆的、創造的な事業を実施するNPOへの助成 • NPOマネジメントサポーターとして登録した企業等の退職者によるNPOの事務サポート • とやま起業未来塾による熟年者の起業促進 • 農村女性が地場農産物を活用して起業するためのリーダー育成と活動支援 ■ 中高年世代のボランティア活動の推進(再掲) <ul style="list-style-type: none"> • 働き盛り世代のボランティア活動への参加促進 • 団塊世代のボランティア参加促進と活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 団塊世代を対象とする地域デビュー講座の開催〕 〔・ 地域の相談窓口の設置〕 • 地域の子育てを支援するシニア世代のボランティア人材の育成・活用 • シニア世代等を対象とする、県民の学習活動を支えるボランティア指導者の育成 • 国際協力機構(JICA)のシニア海外ボランティアなどの派遣活動への参加促進 ■ 高齢者の豊富な経験等の発揮(再掲) <ul style="list-style-type: none"> • シニアタレント活動事業の推進 (豊かな経験など一芸に秀でた高齢者を社会参加活動の指導者として養成・登録)
(3) 中高年世代の意欲や能力に応じた就業支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者の就業促進 <ul style="list-style-type: none"> • 65歳までの定年の引上げ、継続雇用制度の導入等の高年齢者雇用確保措置の普及促進 ■ 中高年世代の職業能力開発支援(再掲) <ul style="list-style-type: none"> • 離転職者に対し新たな職業に必要な知識・技能を習得させる職業訓練の実施 • 在職者がその職業に必要な知識・技能を習得するための訓練の実施 • 民間教育訓練機関等を活用した委託訓練の実施 ■ シルバー人材センターへの支援 <ul style="list-style-type: none"> • 団塊の世代の退職者に対する多様な就業機会の確保のため、シルバー人材センターが行う就業開拓活動を支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 就業機会創出員の配置〕 〔・ 会員を活用した就業機会創出補助員の配置〕 〔・ 新規受注促進のための割引制度の拡充〕 • 県シルバー人材センター連合会への運営費助成

重点施策	主な事業等
(4) U・Iターンの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ Uターン情報センター等の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> • Uターン情報センターにおける情報提供や就職相談の実施 (Uターン情報センター：富山、東京、大阪、名古屋) • いきいき富山館（東京アンテナショップ）におけるUターン就職相談の実施 • 東京Uターン情報センターにおける定期的なミニ企業説明会の開催 ■ 民間就職支援会社との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 全国でのU・Iターン就職相談の実施 • 県内企業の求人開拓 ■ 大学生等を対象とするセミナーなどの開催 <ul style="list-style-type: none"> • 「元気とやま！就職セミナー」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：県出身の大学卒業予定者等 ・ 開催場所：東京、大阪、名古屋等 ・ 県内優良企業、本県の魅力や将来像等の情報提供等 • 「Uターンフェア・イン・とやま」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：帰省中の大学生等 ・ 本県の産業、企業の魅力等の紹介、合同企業説明会 • 県外大学等在学生の父母を対象としたセミナーの開催 • 首都圏等の大学との連携強化による県内中小企業の人材確保の促進(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等相談員の首都圏等の大学への訪問による情報交換の推進 ・ 県内中小企業の技術力等の魅力、採用情報等の情報を大学に提供 ・ 大学の学内セミナー等の情報を県内中小企業に提供 ■ Iターン就職の促進 <ul style="list-style-type: none"> • 首都圏等の高い技術を持つ地方就職希望者を対象としたIターン就職の促進 (セミナーの開催、県内企業見学ツアーの実施など) ■ 県外大学生のインターンシップ参加支援 <ul style="list-style-type: none"> • 県外大学等在学生に対する県内企業でのインターンシップ情報の提供 ■ 魅力ある企業の立地促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 先端産業分野を中心とした企業誘致や企業の本社機能の誘致 • 企業立地助成制度の整備 • 企業立地セミナー、先端産業懇談会等の開催 ■ 都市・農山漁村交流による農林漁業への就業促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • とやま帰農塾の開催

10 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成

政策目標 (政策の目指すべき成果)

誰もが互いの人権や多様な価値観を尊重し、相互の信頼や連帯感のもと自立意識の高い地域社会が形成されていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 人権や思いやりの心を大切に する教育・啓 発の推進	<p>■ 人権教育に関する研修内容の充実や指導者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育に関する研修会の開催 <p style="text-align: center;">※人権教育・啓発に関する研修の実施回数 【H17：35回→H23：40回】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育啓発映画など教材の充実 教育・福祉・医療関係者、警察・消防職員など特定職種に対する人権教育の実施 <p>■ イベントやメディアを活用した効果的な人権啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権啓発講演会の開催、TV等メディアによる人権啓発、啓発資料の作成配布（国や市町村と連携した人権週間（12月4日～10日）関連イベントの実施） エイズ予防キャンペーンの実施（再掲） ハンセン病についての正しい知識の啓発普及（再掲） 北朝鮮当局による人権侵害問題（拉致問題）に関する啓発の実施（北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）における講演会やパネル展の開催） <p>■ 命を大切に する心や思いやりの心を 育てる学習機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心を醸成する幼児向け福祉絵本、小中学生向け人権読本の作成配布 少年非行防止のための啓発冊子の作成（再掲） いじめ問題に対する総合的な対策の実施（再掲） 障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の交流及び共同学習（再掲） 命の大切さを学ぶ子どもの体験活動の実施（再掲） 市町村が実施する親子の宿泊型自然体験活動への助成（再掲） 身近な動物の命を大切に する心の醸成 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 富山県動物愛護管理推進計画の策定（H20年度からの5か年間） 動物愛護フェスティバル、犬・ねこの譲渡事業等の動物愛護事業の実施 </div>
(2) 人権課題へ の対応	<p>■ 人権侵害に対応する相談体制の充実（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性相談センター、児童相談所等における相談体制の充実（夜間・休日の電話相談等） スクールカウンセラーの配置など学校における相談・支援体制の充実 子どもほっとラインや子育てほっとラインの設置 <p style="text-align: center;">※人権関係の相談員数 【H17：49人→H23：50人】</p> <p>■ 人権侵害に対する救済・支援の充実（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性への暴力根絶キャンペーンの実施、DV被害者保護対策の充実（DV被害女性の一時保護など） 児童虐待防止地域支援ネットワーク等への支援（市町村によるネットワークの設置促進と運営支援）、子ども虐待防止ハンドブックの作成 高齢者の権利擁護の推進 認知症高齢者への支援対策の充実

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ● 犯罪被害者への支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 被害者カウンセリングアドバイザーの委嘱〕 〔・ 被害者向けの手引き作成〕 〔・ とやま被害者支援センターへの支援〕 ■ 高齢者等の生活支援、社会参加支援や就労環境の改善促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 富山型デイサービス施設整備に対する助成 ● 元気な高齢者の活動促進 ● 障害者の自立支援と社会参加の促進 ● 障害者の就業支援と雇用促進 ● ハンセン病元患者の里帰り事業の実施 ● 在住外国人の生活支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 多言語による行政情報の共通化〕 〔・ 外国語生活情報ハンドブックの発行〕 〔・ 外国語での防災情報放送〕 〔・ 外国人相談・通訳サポートの実施〕 ■ ユニバーサルデザインの導入促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者、重度障害者の住宅改善に対する支援 ● 市町村施設のバリアフリー化に対する支援 ● 安全で快適に利用できる歩行空間への改修
(3) 開かれた県民意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域におけるふれあいを通じた明るい人間関係の形成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業」の実施 ● 児童・生徒のボランティア活動への参加促進（児童生徒を対象とするボランティアの体験学習や講演会の実施、高校生介護体験の実施） ● 心のふれあいあいさつ運動の推進（「あいさつにまつわる いい話」の作品募集、入賞作品集の作成） ■ 多様な価値観の尊重、相互理解の増進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人との共生の推進 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 多文化共生意識の普及啓発〕 〔・ 地域住民向けの外国語会話集の作成〕 〔・ 外国人事業者向けの法令・生活マナー啓発チラシ等の作成〕 ● 高校生の海外派遣事業の実施 ● 語学指導の充実や地域レベルでの国際交流推進のための外国青年の招致 ■ 県外からの転入者等との交流や相互理解の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 県外者等受け入れイベントの実施など交流機会の拡大（グリーン・ツーリズム関連イベント等による県民への啓発普及） ● 県外の人々を広く受け入れる県民意識の啓発（観光関係団体等が実施するおもてなしの心を醸成する研修への助成など）
(4) 心ふれあう地域コミュニティ活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 心がふれあう地域コミュニティづくり（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいコミュニティ・ケアネット21への支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ ふれあいサロン、子育てサロン、世代間交流会等の実施〕 〔・ 支援が必要な人々に対する見守り、話し相手、除雪、ゴミ出し等の個別支援サービスの実施〕

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> • 地域全体による子育て支援の促進 • 児童クラブや母親クラブ、老人クラブ等の活動支援 • 自治会等が地域ぐるみで行う地域環境保全活動への支援 • 地域住民の協力による子どもの登下校安全対策の推進 • 地区安全なまちづくり推進センターの設置促進 <p>■若者や中高年世代の地域活動への参加促進と人材育成（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボランティアのネットワークづくりや交流活動への支援 • 団塊世代を対象とする地域デビュー講座の開催、専用相談窓口の設置など、ボランティア参加促進と活動支援 • 学生、勤労者など県民向けボランティア講座の開催と活動支援 • 若者による主体的な地域づくり活動等への支援 <p>■地域の身近な活動・交流の場としての学校施設の活用促進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 県立高校体育館、グラウンド等の開放の推進 • 地域住民に開かれた学校運営の推進 <p>■地縁組織やNPO等と行政の協働の促進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 相談窓口の設置など協働推進体制の整備 • 提案公募型の協働事業の実施 • 協働に対する理解促進のための公開講座や協働をテーマとしたセミナーの開催

11 芸術文化の振興

政策目標 (政策の目指すべき成果)

誰もが幅広く芸術文化に親しみ、身近な活動に参加するとともに、世界に誇ることのできる芸術文化が創造・発信されていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1)文化活動への幅広い県民の参加	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県民が優れた芸術文化に触れる機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ● 巡回展示や出前公演の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 公立文化ホールによる出前公演の促進 ○ 子どもや障害者等を対象とした公演の開催支援 ○ 県立美術館・博物館の館外展示活動（太閤山ランド「ふるさとギャラリー」での美術品の展示など） ● 文化施設における鑑賞活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 公立文化ホールのネットワークを活用した自主企画事業の充実 ○ 県立美術館・博物館における企画展・常設展の開催 ○ 県内美術館・博物館の連携強化及び情報発信の取組みへの支援 ■ 文化を創造する活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 発表の場の確保 <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民参加による芸術文化祭の開催 ○ 県民による質の高い美術作品の創造を図る公募美術展の開催（富山県美術展（県展）） ○ 県民の幅広い参加による裾野の広い公募美術展の開催（美の祭典越中アートフェスタ） ● 芸術文化団体の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ○ 県芸術祭その他芸術文化団体による芸術文化事業等に対する支援 ○ 国民文化祭への参加支援 ● 練習割引、空きホールの割引など県立文化ホールの利用促進 ● 指導者の養成・確保（舞台芸術分野の専門家をアドバイザーとして芸術文化団体等へ派遣、優れた指導者を招いた講習会の開催など） ■ 文化を支える人々との連携 <ul style="list-style-type: none"> ● 文化ホールや美術館等の企画運営を支援する文化ボランティアの養成 ● 友の会などサポーター組織との連携による文化施設の活性化 ● 企業やNPO等と公立文化ホールとの連携・協働による文化事業の推進 ■ 子どもたちや青少年の文化活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 第36回全国高等学校総合文化祭富山大会（H24）の開催準備 ● 県高等学校文化連盟への支援（県高等学校文化祭の開催、全国高等学校総合文化祭への参加に対する助成） ● 県中学校文化連盟への支援（県中学校文化祭の開催に対する助成） ● 児童生徒による文化活動の奨励 <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学・高校の吹奏楽部員に対するプロの演奏家による技術指導 ○ 全国コンクール等へ出場する個人・団体の激励会開催 ○ 地域の子どもによる舞台芸術作品の創造と発表に対する支援 ● 児童生徒の芸術鑑賞・体験の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 県立美術館による学校一日美術館の開催 ○ 学校巡回劇場開催への支援 ○ 「利賀フェスティバル」など一流の舞台芸術を鑑賞する機会の提供 ● 芸術文化団体による青少年の文化イベント開催への支援（県青少年美術展、県子どもフェスティバル、県青少年音楽コンクールなど）

重点施策	主な事業等
(2) 質の高い文化の創造と世界への発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「舞台芸術特区 T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的な舞台芸術人材育成の拠点づくり（演劇塾、演出家コンクール等の開催） ・ 国内外との交流や共同作業による舞台芸術の創造・発信 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 世界演劇祭利賀フェスティバルの開催〕 〔・ BeSeTo演劇祭の開催〕 〔・ 日露文化フォーラム関連事業等の実施〕 ・ 青少年を対象とする舞台芸術の普及・教育（中高校生鑑賞会、大学生インター・ゼミ、創作ワークショップ等の実施） ■ 特色ある国際的な文化活動の展開と発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立美術館による特色ある国際公募展の定期的な開催 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 世界ポストトリエンナーレトヤマ（近代美術館、S60から3年ごと）〕 〔・ 国際公募：墨画トリエンナーレ富山（水墨美術館、H13から3年ごと）〕 <li style="text-align: center;">※県立の文化ホール・美術館での国際的な事業数【H17：9件→H23：20件】 ・ 民間主体の特色ある文化事業への支援（とやま世界こども舞台芸術祭（仮称）（H20開催予定）、南砺市いなみ国際木彫刻キャンプなど） ・ 県芸術文化協会によるハンガリー、チェコ、環日本海諸国との文化交流の支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 演劇、舞踊、音楽、美術、生活文化分野における相互交流〕 〔・ 海外の優れた指導者による本県の指導者・演技者等への技術指導〕 ■ 富山固有の文化の発掘と発信（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財の保存修理の推進 ・ 伝統文化の保存・継承人材の育成と確保（文化財保存団体の活動支援、文化財ボランティアの育成など） ・ 内山邸の計画的な再生と住民との協働による農村文化の伝承 ・ 歴史的・文化的な景観、まち並みの保全 ・ 「とやま文化財百選」の選定 ・ 「とやま未来遺産」の認定と発信 ■ 映像情報の蓄積と発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ とやま映像祭の開催（県内の自然、文化等の映像を上映） ・ 「とやまオンライン映像館」による情報提供（文化催事等の映像のライブラリー化、ライブ中継の実施） ・ 県映像センターにおける文化・歴史等の映像資料のデジタルアーカイブ化
(3) 文化と他分野の連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光との連携による文化振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化遺産、伝統芸能など、文化を活かした観光資源の発掘・活用 ・ 近隣の観光資源や他の文化資源との組合せによる、魅力ある観光モデルコースの開発・PR ・ 「伝統文化」、「産業観光」等のテーマを組み込んだツアーの企画・PR ・ グリーン・ツーリズムなど富山の風土や文化を体感する体験型観光の推進 ■ 文化を活かしたまちづくり・地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化資源を活かした地域のにぎわい創出への支援（万葉集朗唱の会、布橋灌頂会、まちなみアートリレーなど） ・ 地域の文化資源の魅力発信による交流人口や定住・半定住人口の拡大（再掲） ■ とやまの食文化のアピール（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「越中料理」の継承・創作と全国ブランドへの育成 ・ 食文化と歴史文化に親しむ「とやま食の街道」の全国発信

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■文化を活かした産業の振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> •デザイン産業の振興（企業のデザイン力向上やデザイン性に優れた製品開発の支援） •伝統工芸を支えるものづくり技能の伝承 •癒し系ロボットなど、ものづくりと文化を融合した次世代ロボットの研究開発促進

12 国際化の推進

政策目標（政策の目指すべき成果）

外国人にとっても県民にとっても暮らしやすい地域づくりが進んでいるとともに、環日本海地域をはじめとする各国地域との幅広い交流や協力のもと、グローバルに活動する人材が育っていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 多文化共生のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域におけるコミュニケーションの支援 <ul style="list-style-type: none"> • 外国語による行政・生活情報の提供の充実に対する支援 • 外国語による生活情報ハンドブック等の作成 • ラジオ放送などを活用した在住外国人に対する防災・生活情報の提供 • 在住外国人のための生活相談や法律・労働・医療・福祉等の専門家による合同相談の実施 • 日本語指導や医療・保健、災害、教育等の専門分野におけるボランティアの育成 • ボランティア登録制度の充実及び派遣 ■ 在住外国人の生活支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 外国人児童生徒の日本語指導や学習支援の充実 • 外国語による教育、医療・保健・福祉、住宅関連情報等の充実 • 国際交流奨学金、国民健康保険加入助成金の支給など、外国人留学生への支援 ■ 多文化共生の地域づくり <ul style="list-style-type: none"> • 出前講座等による異文化理解の促進 • 地域住民や外国人への多文化共生の意識啓発 • 法令や生活マナー等の外国語訳啓発チラシの作成など在住外国人の法令等の理解の促進 • 地域住民向け外国語会話集の作成や交流支援員の配置など在住外国人と地域住民との交流の促進 ■ 多文化共生を推進する体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> • とやま国際センター（TIC）における多文化共生事業の充実 • 「外国人共生推進連絡会議（仮称）」の設置による国、県、市町村等の関係機関の連携の強化
(2) 多様な国際交流・協力活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財団法人とやま国際センターの機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> • 国際交流人材や国際交流団体の登録やネットワーク化による民間交流活動の支援 • 個人やNPO等の国際交流活動への助成やとやま国際草の根交流賞の授与による国際交流・協力活動の促進 • 国際交流・協力活動情報の提供やホームページ等による発信の充実 ■ 友好提携先等との国際交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 友好提携先との職員の相互派遣、留学生の受入れ • 友好提携先等との学術・文化、経済、教育等の多様な民間交流の促進 • とやま名誉友好使節の委嘱等による富山情報の発信や海外への広報 • 富山ファン倶楽部の人的ネットワーク活用による富山県と中国との幅広い分野の交流拡大

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環日本海地域との交流・協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 北東アジア地域自治体連合への参画と関係自治体等との連携を通じた多様な交流事業の推進 • 県大連事務所や(財)自治体国際化協会及び日本貿易振興機構（ジェトロ）の海外事務所などの海外拠点を活用した環日本海交流に関する情報の提供 • (財) 環日本海環境協力センター（NPEC）が実施する環日本海地域における環境保全活動に対する支援（再掲） • 環日本海交流活動の拠点である環日本海交流会館の運営 ■ 日本海学の推進 <ul style="list-style-type: none"> • シンポジウムや講座の開催等による日本海学の普及 • 出版物の刊行やホームページによる情報発信 • 大学における授業等による若年層への普及 ■ 北西太平洋行動計画(NOWPAP)に対する支援協力 <ul style="list-style-type: none"> • 北西太平洋行動計画（NOWPAP）本部事務局（富山市）の運営支援 • NOWPAPの地域活動センターとしてNPECが実施する日本海・黄海の海洋環境保全活動への支援（再掲）
(3) グローバルに活動する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 友好提携先との交流を通じた人材育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 個人やNPO等の国際交流・協力活動への助成や顕彰（再掲） • 国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊及びシニア海外ボランティアなどの派遣活動への県民の参加促進と帰国隊員の活動機会の提供 • 中国や韓国、ロシア沿海地方などの友好提携先に関する情報提供による県民の活動機会の拡充 • 外国教育施設日本語指導教員派遣事業（REX計画）などを活用した友好提携先への日本語教員の派遣による日本語教育及び日本文化の普及 ■ 青少年の国際交流の促進と留学生への支援 <ul style="list-style-type: none"> • 小・中・高校の海外の学校との交流の推進 • 語学指導等を行う外国青年の招致等による国際理解教育の推進 • 県内高等学校生徒の海外派遣などによる国際感覚豊かな人材の育成 • 国際交流奨学金の支給、国民健康保険加入費の助成など、外国人留学生への支援（再掲） ■ 国際経済交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 中国との経済交流や学術文化交流、環境協力など多様な分野の交流・協力の拠点である県大連事務所の運営（再掲） • 環日本海諸国との貿易・投資交流を促進するため、県内企業等への情報提供等を行い支援する環日本海貿易交流センターの運営（再掲） • 北東アジア地域の外国企業と県内企業が商談・情報交換を行う展示商談会等の開催（再掲） ■ 友好提携先等の経済発展を担う人材の育成協力 <ul style="list-style-type: none"> • 友好提携先や(財)自治体国際化協会(CLAIR)、国際協力機構（JICA）の研修員の受入れ • 友好提携先からの留学生の受入れ（再掲）

13 交流人口の拡大、定住・半定住の促進

政策目標（政策の目指すべき成果）

首都圏をはじめとして大都市圏等との交流人口が拡大し、U I Jターンなどの県内への移住や、季節滞在などの半定住（交流居住）が増大していること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1)「富山」の地域イメージの発信	<p>■キャッチフレーズ「くらしたい国、富山」及びロゴマークの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村、企業、団体、個人等に対する利用の呼びかけ（ロゴマークをアレンジした名刺の台紙配布など） 企業等に対する商品・サービスにおける活用の働きかけ（イメージに合致する商品・サービスについて、宣伝広告や包装等で活用するなど） <p>※ロゴマーク「くらしたい国、富山」の県の事業やイベント等における利用件数（累計） 【H19.1月末：20件→H23：200件】</p> <p>■PR誌等による地域イメージの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 富山の生活の魅力や最新情報を掲載した県PR誌の発行 全国雑誌への記事型広告の掲載（定住・半定住体験の紹介など富山の住みよさをアピール） とやまふるさと使節、県人会などの人的ネットワークを活用した発信（再掲） 東京アンテナショップにおける情報発信の充実（再掲）
(2)交流人口の拡大に向けた取り組み	<p>■芸術・文化交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県の恵まれた自然環境の中での質の高い学びと楽しみの場の提供（受講生として大都市圏住民も吸引） 舞台芸術特区TOGAにおける国際的な舞台芸術の拠点づくりなど、国内外との文化交流の拡大（再掲） 地域に密着した音楽祭等の芸術イベントに対する開催支援（再掲） <p>■地域の魅力を活かしたコンベンション等の誘致（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模なコンベンション、学会、イベントに対する助成 アフターコンベンションの魅力の充実 <p>■定住・半定住の促進による地域経済活性化方策の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国事例や県内各地域の現状を紹介するセミナーの開催 地域活性化方策について検討を行う研究会の開催（県内の既存の地域資産等の活用検討） <p>■グリーン・ツーリズムの推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーン・ツーリズム推進協議会による地域資源の発掘、発信方策の検討 農作業や地引き網体験を取り込んだ観光モデルルートの開発 観光と連携した農家民宿・レストランの育成 水田、棚田、樹木などのオーナー制度の普及・促進 <p>※都市との交流による農山漁村活性化重点地域の指定数（再掲） 【H17：9地域→H23：39地域】</p> <p>■滞在型観光の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな滞在型観光モデルルートの開発・PR <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・修学旅行生などターゲット別ルート ・テーマ別ルート（健康・癒し、産業観光、伝統文化、まちなか観光など） ・自然・グルメ・温泉などを組み合わせた複合的ルート

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ● 県外からの修学旅行、ゼミ・サークルの合宿の誘致 ● 観光情報の効果的な発信（パンフ・ポスターやホームページの充実・活用、空港や駅における情報提供の充実）
(3) 定住・半定住ニーズの掘り起こしと情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな定住・半定住ニーズの掘り起こし <ul style="list-style-type: none"> ● 本県に関する情報提供希望者や県人会会員等に対する情報提供（ダイレクトメールの発送など） ■ 相談窓口、情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 総合相談窓口の設置、首都圏等でのセミナーの開催、総合冊子の作成など（再掲） ● 大都市圏での相談窓口の設置（東京アンテナショップ、東京・名古屋・大阪の県事務所） ■ U I J ターンの推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● Uターン情報センターの機能強化 ● 民間就職支援会社との連携 ● 都市圏の高い技術を持つ団塊世代等を対象とした I ターン就職の促進
(4) 多様な生活体験モデルの開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活体験に重点を置いた体験モデルの開発と誘客 <ul style="list-style-type: none"> ● 団塊世代、子育て世代、女性などターゲット別の体験モデル開発 ● 市町村やNPO主体の体験事業に対する支援（施設補修、案内人確保等に係る経費助成） ■ 都市圏住民の就農体験の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 「とよま帰農塾」の全県的展開（滞在型都市農村交流のモデルとして、県内複数か所において実施）
(5) 官民の協力による受入体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 官民協力による定住・半定住の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 県、市町村、NPO、民間企業により構成される定住・半定住推進組織の設置 ● 各種事業の展開 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談窓口、定住・半定住に関する専用ホームページの設置 ・ 首都圏等でのセミナーの開催、PR用パンフレットの作成 ・ 体験モデル事業の実施 ・ 定住・半定住に必要な生活関連サービスのコーディネート </div> ■ 市町村、NPO等との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ● 空き家情報バンクのネットワーク化 ● ハローワークとの連携（転職希望者に対する定住・半定住の働きかけ） ● グリーン・ツーリズム等の先進的な取組みを行うNPOに対する支援（再掲） ■ 全国的組織への参加と連携 <ul style="list-style-type: none"> ● 都市から地方への移住等を支援する全国組織への参加 ● 全国組織を通じた情報やノウハウの収集、都市住民のニーズの把握 ■ 富山の魅力を伝える「おもてなしの心」の醸成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 観光アカデミーの開催、観光団体・観光事業者団体等が実施する「おもてなし研修」への助成 ● 観光ボランティアの育成支援

14 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見

政策目標（政策の目指すべき成果）

県内各地域において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を継承、再発見し、質を高める活動が活発に行われるなかで、郷土への誇りと愛着が深まっていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 地域の魅力の発掘・再発見の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の魅力を発掘し再認識する取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> • 「とやま未来遺産」の公募・認定（自然、建造物、伝統文化など、次世代に引き継ぐべき身近な地域資源を発掘） • 「黒部ルート」の一般見学会の開催支援 • 「とやま文化財百選」の選定（再掲） • 景観条例に基づく「ふるさとの記念物」や「ふるさと眺望点」の指定（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ※ふるさと眺望点の指定箇所数（累計）【H17：11か所→H23：25か所】（再掲） ■ 郷土の魅力を再発見する「越中富山ふるさとチャレンジ」の展開 <ul style="list-style-type: none"> • 県、市町村、民間団体等の連携による検定試験の実施 • 検定試験とリンクしたキャンペーンの展開（スタンプラリー、バスツアー、セミナーなど） • 新聞広告掲載などによる郷土の魅力再発見の取組みの紹介・PR（未来遺産等も含め様々な活動を横断的に紹介） • 検定試験合格者の富山のPR人材としての活用検討 ■ 世界遺産登録に向けた活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> • 立山黒部の文化資産の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 立山黒部地区及び周辺における文化資産の現状調査 ・ 立山黒部の文化資産の魅力を啓発するセミナー等の開催 ・ 世界文化遺産登録の可能性の研究 • 「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録に向けた活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化遺産の学術的価値などの研究 ・ 文化遺産の魅力を啓発するフォーラム等の開催 ■ とやまの食文化の魅力の継承・再発見（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 富山の食材を活用し、富山の伝統を活かした「越中料理」の継承・創作 • 富山ならではの食材や食文化が体験できる周遊ルート「とやま食の街道」の設定 ■ 「日本海学」の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • シンポジウムや講座等の開催 • 大学における授業や高校への出前講座等による若年層への普及
<p>(2) 地域の良さや魅力を磨き上げる活動への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域資源の価値を高める活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> • 「とやま未来遺産」を活用した取組みの展開（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定遺産の魅力を県内外へPR ・ 認定遺産を活用した新たな取組みのスタートアップ支援 • 地域資源の魅力を磨き上げ、新たに創造する活動への支援（一定の評価が定着している地域資源を活用した取組みに対する助成） <ul style="list-style-type: none"> ※地域資源の価値を高める活動に対する支援件数（延べ数）【H18：2件→H23：17件】 • 地域に密着した音楽祭等への支援（コンサート、セミナー等の開催に対する助成）

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の景観づくりに取り組む住民主体の活動への支援（景観アドバイザーの派遣など） <p>■地域の魅力づくりの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の魅力増進に関する住民意識の醸成（先進的事例の紹介、PRなど） • 地域の魅力づくりに取り組む地域団体、NPOのネットワーク化 • 地域間交流・連携を図る地域主体のイベント、事業等の活動支援 • 地域活性化方策について検討を行う研究会の開催（県内の既存の地域資産等の活用検討）（再掲）
(3) 伝統文化の保存・継承	<p>■国・県指定文化財の保存修理等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文化財の保存修理等に対する助成（大規模な保存修理、環境整備、詳細調査など） • 埋蔵文化財の調査等に対する助成（分布状況調査、発掘調査など） <p style="text-align: center;">※国・県・市町村指定文化財及び登録有形文化財件数 【H17：1,296件→H23：1,330件】</p> <p style="text-align: center;">※重要文化財勝興寺の保存修理事業進捗率 【H17：34%→H23：65%】</p> <p>■伝統文化の保護意識の醸成と継承する人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文化財パトロールの実施による文化財所有者の保護意識の醸成 • 子どもたちを対象に伝統文化を教え伝える団体等への活動支援 • 伝統文化の保存継承に関する地域の主体的な取り組み事例の紹介 <p>■伝統芸能の発表の場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> • 民謡民舞などの保存伝承団体が出演する芸能大会の開催支援 <p>■文化財を支えるボランティアの育成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文化財の保存・活用を推進するボランティアの連携強化 <ul style="list-style-type: none"> 〔・文化財ボランティアによる子ども向けリーフレット作成への支援〕 〔・文化財ボランティアの連携強化のための研修会の開催〕 <p>■伝統文化の魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「とやま文化財百選」の選定とインターネット等による情報発信 <p>■埋蔵文化財に対する理解・学習の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全国の貴重な遺物を展示する特別企画展等の開催 • 展示内容をわかりやすく解説する記念講演の開催 • 子ども向けの遺物展示や玉造りなどの体験学習の実施 • 一般県民を対象とした、郷土の古代について理解を深める講座の開催
(4) 歴史・伝統文化など地域の魅力を活かしたまちづくり	<p>■散居景観の保全・活用（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域ぐるみによる屋敷林の維持管理等の活動への支援 • 散居景観の「重要文化的景観」選定を目指す取り組みへの支援 <p>■歴史や文化を活かしたまち並みづくり・まち並み保全（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 景観づくり住民協定の締結に向けた取り組み、協定に基づく事業実施に対する助成 • 伝統的建造物群保存地区における歴史的景観の保全 <p>■地域の魅力を活かすまちづくり（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 伝統文化や食などの魅力を体感できる賑わいあるまちづくり • 地域の魅力を活用した観光モデルルートの開発や通年観光の取り組みの促進

15 美しい景観づくり・歴史や文化を活かしたまち並みづくり

政策目標（政策の目指すべき成果）

美しい自然景観や田園景観が守り育てられ、良好な都市景観づくりが行われるとともに、歴史や文化を活かしたまち並みづくりが進められていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 地域の個性を活かした景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点的な景観の保全と創造 <ul style="list-style-type: none"> ● 優れた景観を有する地域等の「景観づくり重点地域」指定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「重点地域基本計画」（重点地域における景観づくりに関する基本計画）の策定 ・ 「特定行為の景観づくり基準」（建築物の新築など、周辺景観に影響を与える特定行為に係る景観保全上の基準）の策定 ・ 特定行為の事前届出に対する指導・助言 ・ 地域の景観と調和させるための建築物の改修等に対する支援 ■ 大規模な建築行為等の事前届出制による景観との調和の確保 <ul style="list-style-type: none"> ● 一定規模以上の建築物の建設や開発行為等を行う場合に、事前届出を義務づけ、必要に応じ基準に適合させるよう指導・助言 ■ 景観に配慮した公共事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ● 「公共事業の景観づくり指針」に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 公共事業の先導的役割を考慮し、地域の景観づくりに率先して配慮〕 ● 各公共事業の実施（再掲） <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 眺望に配慮し周辺環境にも調和した富山大橋架け替えなど道路の整備、維持 〔・ 富岩運河環水公園など都市公園の整備、維持管理 〔・ 自然公園における歩道、休憩施設、環境配慮型公衆トイレ等の整備 ■ 眺望景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> ● 優れた景観を眺望できる地点の「ふるさと眺望点」指定 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 第1次指定：自然景観（雄大な自然や田園の景観）を眺望できる地点（11地点） 〔・ 第2次指定：四季が感じられる眺望景観を得られる地点（今後指定） 〔・ 第3次指定：都市（まち）の景観を眺望できる地点（今後指定） <p style="margin-left: 40px;">※ふるさと眺望点の指定箇所数（累計）【H17：11か所→H23：25か所】</p> ■ 市町村の地域特性に応じた景観施策に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 景観づくりに関する基本計画策定、住民を対象とする普及啓発事業等に対する助成 ● 景観アドバイザーの派遣による技術的支援 ● 地域地区や地区計画等の適切な運用 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 用途地域、高度地区、風致地区、景観地区等の地域地区や地区計画など、良好な景観形成に資する都市計画手法の活用の際に、広域的な観点から技術的助言を行う ■ 富山県の玄関口にふさわしい新幹線駅等の整備（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 富山駅付近連続立体交差事業の推進 ● 富山駅周辺景観デザイン検討委員会の開催 ● 眺望や周辺景観との調和に配慮した新幹線駅舎等の整備促進 ■ 水辺の景観づくり（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村や民間事業者等が主体となって進める、河川、運河、港などの水辺を活かしたまちづくりへの支援

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> • 自然景観や植生、生態系に配慮した河川の整備 • 景観や親水性も考慮した人工リーフ、護岸など海岸保全施設の整備 <p>■ 農業基盤施設整備による美しい田園景観の保全と創造</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農業水利施設を活用したうるおいある景観整備 <ul style="list-style-type: none"> 〔・水路・ダム・ため池等の水辺空間を活用した、遊歩道や石積み護岸などの整備〕 〔・周辺景観や生態系に配慮した水利施設の整備〕 • 法面等への植栽による良好な景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> 〔・農業用排水路の法面や田んぼの畦畔等に、芝やヒメイワダレソウ等の地衣類を植栽〕 〔・地域住民が参加して行う直営施工方式による農村景観の保全〕 • 地域景観に配慮したほ場整備等の推進（農村景観を損なう耕作放棄地の発生を防止する未整備農地の大区画化整備）
(2) 歴史や文化を活かした景観づくり	<p>■ 散居景観の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> • 散居景観保全事業による地域ぐるみの活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・対象地域：「散居景観を活かした地域づくり協定」を締結している地域〕 〔・事業内容：屋敷林の枝打ち等の維持管理に対する支援〕 • 「となみ散居村ミュージアム」の運営支援 • 散居景観に関するシンポジウムなど啓発事業の実施 • 散居村景観の「重要文化的景観」選定を目指す取組みへの支援 <p>■ 棚田地域の保全（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域住民等が行う保全活動への支援 • 棚田オーナー等の活動への支援 <p>■ 歴史や文化を活かしたまち並みづくりに対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> • 景観アドバイザーの派遣による技術的支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・景観、デザイン、建築、造園等の専門家を要請に応じて派遣し、魅力ある景観づくりのため、計画立案から実施に至るまで様々な場面でアドバイスを行う〕 • 住民協定の締結に向けた取組みや協定に基づく事業実施に対する助成 <p>■ 伝統的建造物群保存地区における歴史的景観の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高岡市山町筋、五箇山の合掌造り集落（南砺市相倉地区、菅沼地区）における景観保全 <p>■ 「ふるさとの記念物」の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域で親しまれ、風土と一体となって優れた景観を形成している建造物、遺跡、名勝地等を指定 • 保存・修理に対する支援、県内外への発信 <p style="text-align: center;">※ふるさとの記念物の指定箇所数（累計）【H23：15か所】</p>
(3) 美しい沿道景観づくり	<p>■ 屋外広告物の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> • 屋外広告物条例に基づく規制の強化 <ul style="list-style-type: none"> 〔・許可基準等規制の見直し 屋外広告物の設置状況に関する実態調査の実施と、その実態調査結果をふまえた、規制のあり方を見直し〕 〔・広告物ウォッチングの実施 県民等の参加のもと、主要駅前等における屋外広告物の設置状況の把握、改善策の検討を行う〕 <p style="text-align: center;">※屋外広告物ウォッチングの実施回数（累計）【H23：10回】</p>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ● 違反屋外広告物の適正化 <ul style="list-style-type: none"> 〔・設置許可、是正措置命令等の権限を有する市町村とともに、違反屋外広告物適正化の方策を検討・実施〕 ● ガイドラインによる良質な屋外広告物の誘導 <ul style="list-style-type: none"> 〔・景観と調和した屋外広告物の基準等を示したガイドラインの作成・配布〕 ● 良好な沿道景観づくりモデル事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 〔・協議会の設置、現状調査、ガイドラインの策定、広告物の除却等改善〕 <p>■ 道路無電柱化の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市街地幹線道路における無電柱化の実施 <ul style="list-style-type: none"> 〔・「無電柱化推進計画」（H16～H20）に基づき、電線管理者と連携を図りながら無電柱化を推進〕
<p>(4) 県民参加の景観づくり活動への支援</p>	<p>■ 景観づくりに関する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 景観に関するフォーラムの開催 （景観づくりに関する講演会、「うるおい環境とやま賞」の授与） ● 「うるおい環境とやま賞」による顕彰 <ul style="list-style-type: none"> 〔・景観への配慮・工夫が優れている建築物、景観づくりに積極的に取り組んでいる団体等を表彰〕 ● 住民主体の景観づくり活動に対する支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> 〔・景観アドバイザーの派遣による技術的支援〕 〔・住民協定の締結に向けた取組みや協定に基づく事業実施に対する助成〕 <p>※景観アドバイザーの派遣回数（年間）【H17：3回→H23：5回】</p> <p>■ 県土美化推進運動の展開（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県土美化推進県民会議を中心とした「まちやむらを美しくする運動」、「山や海岸をきれいにする運動」などの展開 <p>■ 県民緑化運動の推進と花と緑あふれる地域づくりの推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (財)花と緑の銀行を通じた花と緑のグループの育成や活動支援 ● グリーンキーパーの適正配置と資質向上のための各種研修の実施 <p>■ 田園景観を守る地域の取組みへの支援（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 散居景観保全事業による地域ぐるみの活動への支援 ● 地域住民等が行う棚田の保全活動への支援

16 農山漁村の活性化

政策目標 (政策の目指すべき成果)

豊かな自然、美しい景観、伝統文化等の地域資源の活用や、都市住民との交流などにより、個性豊かな魅力ある農山漁村が形成されていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 地域資源の保全・管理と環境にやさしい農業の推進</p>	<p>■ 地域ぐるみによる地域資源の保全・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農地・水・環境保全向上対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 江ざらい、草刈り等の集落共同活動への支援 ・ 水路、ため池などの長寿命化を図る初期補修等への支援 ・ 生態系や景観の保全など農村環境向上活動への支援 ・ 幼児・高齢者の水難事故防止のための安全柵設置等への支援 ・ クマ対策としての秋口における水路沿いの草刈りへの支援 ● 専門的な知識や技術を有する人材の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保全活動技術マニュアルの作成や研修会等の開催によるリーダーの育成 ・ 保全活動のレベルアップを図る技術サポートWebの構築 ● 中山間地域における地域資源の保全・管理（集落協定に基づく多面的機能の維持増進） <ul style="list-style-type: none"> ・ 非農家も参加して、レンゲやコスモスなどの景観作物の作付を行う共同活動への支援 ・ 自然観察会の開催など学校教育と連携した活動への支援 <p>■ 多面的機能の保全に配慮した農山漁村の整備（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に応じた生産基盤等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の担い手を支援育成する水田の大区画化や汎用化 ・ 都市化や混住化に対応した農業用排水路の整備 ・ 森林の公益的機能発揮に配慮した生産林の整備と林道・作業道の整備 ・ 新鮮な水産物の安定的供給を可能とする漁港施設の整備 ● 快適な生活環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農山漁村下水道の整備 ・ 集落道における消流雪装置の整備 ・ 高度な情報通信ネットワークの全体的整備 <p>※農山漁村下水道整備人口 【H16：92,600人→H23：114,700人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境や景観の保全への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 散居村、棚田など美しい農村景観の保全 ・ 多様な生物の生息の場としての水田（湿地環境）の保全 ・ 農業用排水路整備における石積み護岸や近自然工法などの採用 ・ 風雪被害林や過密人工林を対象としたスギと広葉樹が混交する森林への誘導 ・ 生物多様性の保全、野生動物との棲み分けに配慮した里山林の整備 ・ 人工リーフの整備や養浜などによる海岸の保全 <p>■ 環境にやさしい農業の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農薬や化学肥料の低減技術等の普及指導 ● エコファーマー等による先進的な取組みへの支援 <p>※エコファーマー認定数 【H17：622人→H23：1,600人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家畜排泄物処理施設やストックヤードの整備等の推進 ● バイオマスの利活用による環境保全技術の普及（農業団体等と連携したプロジェクトチームによる調査研究） ● 農薬・化学肥料の大幅な使用低減等を実践する地域等への支援

重点施策	主な事業等
(2) 中山間地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中山間地域等直接支払制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> • 集落協定に基づく耕作放棄地の発生防止 • 農業生産の将来的な継続をめざす取組みの促進 ■ 安らぎのある地域づくり <ul style="list-style-type: none"> • 鳥獣類による農作物被害軽減技術の実証 • 畜産を活かした安全で美しい郷づくり <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 牛の放牧帯設置によるクマ等との棲み分けの推進〕 〔・ 放牧による耕作放棄地解消と景観維持〕 ■ 棚田保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> • 棚田オーナー制度の普及・促進 • 棚田保全に携わるボランティアの育成支援 ■ 地域資源を活かした産業の育成 <ul style="list-style-type: none"> • 若者に魅力ある産業の育成や生活基盤の整備など、中山間地域活性化をめざす施策の総合的・計画的な推進のための指針の策定 • 特産品等の直売所の整備促進 • 観光と連携した農家民宿や農家レストランの育成（再掲） • 四季の花々を蜜資源として活用する養蜂技術者の養成 ■ 定住環境の維持・向上（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 道路、下水道など生活環境の整備 • 医療・福祉環境の向上 • 雪崩防止柵、防護擁壁等の整備 • 集落、道路等の保全のための治山施設の整備 • 携帯電話の不感地帯解消 • コミュニティバス等の公共交通の確保 ■ 都市住民の定住・半定住の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 「とやま帰農塾」の全県的展開 • 定住・半定住ニーズの掘り起こしと情報発信 ■ 特色ある伝統文化の振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> • 獅子舞や民謡、民舞など地域に伝わる伝統芸能の保存と継承 • 伝統文化を守り育てる人材の育成
(3) 都市と農山漁村の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な主体の参画によるグリーン・ツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> • グリーン・ツーリズム推進協議会の開催（県、市町村、NPO等により構成） <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 地域資源の発掘、事例研究〕 〔・ 県外への発信方策の検討〕 • 県内におけるイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ 推進協議会等の県内優良事例の発表〕 〔・ 県民への普及啓発〕 • 「とやま帰農塾」の全県的展開（滞在型都市農村交流のモデルとして、県内複数か所において実施） • NPO等の活動支援（指定重点地域において都市・農山漁村交流に取り組むNPO等の活動を支援） <ul style="list-style-type: none"> ※都市との交流による農山漁村活性化重点地域の指定数 【H17：9地域→H23：39地域】 • 農山漁村における大学生等の若者のボランティア活動支援

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■都市と農山漁村の交流拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> •滞在型のものも含む市民農園等の施設整備に対する支援 •都市住民を対象とした農業研修施設の整備支援 •公共育成牧場などでの家畜とのふれあいの機会の提供 ■グリーン・ツーリズム・ビジネスに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> •ノウハウを習得するインストラクター研修などの人材育成 •観光との連携も視野に入れた農家民宿や農家レストランの育成 ■都市住民の体験機会の提供促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> •農作業や地引網体験を取り込んだ観光モデルルートの開発 •水田、棚田、樹木などのオーナー制度の普及・促進 •子どもたちの農業、農村体験学習の取組みの推進 ■富山の農山漁村の魅力の全国発信 <ul style="list-style-type: none"> •3大都市圏における情報発信（都市圏で発行される新聞や雑誌への情報提供） •いきいき富山館での広報（いきいき富山館での実演PRに対する支援） ■農林水産業を通じた国際交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> •本県における農林水産技術の蓄積を活かした交流・協力

17 豊かで美しい森づくり・花と緑の地域づくり

政策目標 (政策の目指すべき成果)

県民の参加により、豊かで多様な「とやまの森」が整備、保全されているとともに、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境が形成されていること。

重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1)とやまの森を支える人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県民全体で支えたとやまの森づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 「富山県水と緑の森づくり会議」を通じた県民の意見の反映 <ul style="list-style-type: none"> 〔・森づくり全般についての提言 〔・県民等から提案された森づくりに関する事業の採択審査〕 ● 「森林審議会森づくり部会」による、「水と緑の森づくり税」を財源とした森づくり事業についての専門的・技術的立場からの評価と改善策の検討 ● 森づくりに関する提案の募集と県民等の活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・アイデアの募集と事業化の検討 〔・県民が自ら企画立案・実行する提案事業の取組み支援〕 ■ 森林ボランティアの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 「とやまの森づくりサポートセンター」による森林ボランティアの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 〔・個人・団体・企業のボランティア登録及び活動フィールドの登録 〔・貸出用機器の整備（ヘルメット、チェンソー、刈払機など） 〔・登録ボランティアの活動活性化に対する支援及びボランティア保険料の助成 〔・サポートセンターの運営を支える人材の育成 〔・ボランティア活動のレベルに応じた森づくり塾（技術研修）の開催 〔・ボランティア体験ツアーの開催と各団体（県内、岐阜県）間の交流の促進 〔・ボランティア団体間の交流を深める活動拠点の設置〕 ● 「とやまの森づくりサポートセンター」による広報活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 〔・ボランティアの受入を勧める森林所有者向けパンフレットの作成〕 〔・企業の森づくり活動参加を促す企業向けパンフレットの作成〕 ● 「とやまの森づくりサポートセンター」の効率的運営 <ul style="list-style-type: none"> 〔・とやまの森づくりサポートセンター運営委員会の開催 〔・サポートセンター活動の効率的推進のための提言を行う森づくり懇話会の開催〕 ● 草刈り十字軍活動に対する支援 ■ 森づくりに関する情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ● 森づくりに必要な各種情報を迅速に提供する「とやまの森づくり総合情報システム」の整備（H19整備、H20.2本格運用） <ul style="list-style-type: none"> 〔・放置人工林や病害虫被害森林の分布状況、森づくり活動の成果等に関する情報提供〕 ■ 森林の大切さなどの啓発活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 「とやま森の祭典」の開催による森林の役割等についての理解の増進 ● 林業普及教育施設「21世紀の森」などによる森林とのふれあう機会の提供 ■ 森林環境教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● フォレストリーダー（森林環境教育の指導者）の養成 ● フォレストリーダーによる、青少年や一般県民を対象とした森林の役割等の基礎知識を培い、各種体験活動を行う「森の寺子屋」の開催 ● 花とみどりの少年団活動への支援 ● とやまの森林・林業を解説した児童生徒向けの副読本の作成

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■有峰森林文化村活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> •有峰の樹木に対する愛着心を育む活動や高校生に対する森林体験などの実施 •有峰の自然環境保全のため管内を巡回する有峰森林レンジャーの設置 •有峰森林文化村祭の実施 ■県産材利用の促進や木の良さの普及啓発の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> •県産材を使用した公共施設等の内装の木質化への支援 •県産材製品の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> 〔・県産材を使った「積木」、「ベンチ」の配布・設置（H19～21） 〔・県産材を天板に使用した小学校学童用机の導入（H19モデル校、H20～希望校） 〔・子供たちのアイデアを活かした木製遊具の製作・設置
(2)多様な森づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■県民の意見を反映した多様な森づくり（再掲） <ul style="list-style-type: none"> •「富山県水と緑の森づくり会議」を通じた森づくりへの県民の意見の反映 •「森林審議会森づくり部会」による森づくり事業についての専門的・技術的評価と改善策の検討 •森づくりに関する提案の募集と県民等の活動への支援 ■県民参加による「里山林」の整備 <ul style="list-style-type: none"> •地域の合意形成が図られている森林を対象に、地域や生活に密着した里山の再生整備を県民協働により推進 <ul style="list-style-type: none"> 〔・里山管理利用計画の策定支援 〔・広葉樹林整備、竹林整理、森林整備に必要な作業歩道の開設への支援 〔・地域住民、ボランティアによる簡易な整備や維持管理活動の支援 〔・地域からの提案に基づく事業活動への支援 <p style="margin-left: 40px;">※里山林の整備面積 【H23：1,000ha】</p> ■「保全林」の適切な保全・保護 <ul style="list-style-type: none"> •治山事業などによる森林の公益的機能の発揮 <ul style="list-style-type: none"> 〔・荒廃山地の復旧整備、山地の崩壊等の未然防止、なだれの防止 〔・治山事業地における健全な森林整備の実施 〔・海岸における砂・風等による被害の防止 など •保安林の適正な保全・管理（保安林の指定・解除及び伐採等の行為制限など） •カシノナガキクイムシなどの森林病害虫等の防除 ■「生産林」整備の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> •保育、間伐などの計画的な整備による健全な人工林の育成（私有林、公社営林、県営林） •46年生以上の高齢級の人工林を対象とした抜き伐り施業の実施（私有林、公社営林） •安定的な県産材生産を図るための県産材搬出への助成 •優良なスギ種苗の生産 ■風雪被害林等の「混交林」への誘導整備 <ul style="list-style-type: none"> •風雪被害林や過密人工林におけるスギと広葉樹が混交する森林への誘導整備 <ul style="list-style-type: none"> 〔・風雪被害林の整理、過密人工林の整理 〔・混交林整備に必要な森林所有界の確認、協定締結等への支援 •有峰森林の混交林への誘導整備 <p style="margin-left: 40px;">※混交林の整備面積 【H23：1,000ha】</p>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 森づくりに必要な技術の確立と普及 <ul style="list-style-type: none"> • 健全で機能の高い森林の育成に係る試験研究 〔・ 里山林整備及び混交林への誘導整備の効果検証と検証システムの構築〕 〔・ ナラ類集団枯損の防除・予防技術の開発〕
<p>(3) 県民緑化運動の推進と花と緑あふれる地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ (財)花と緑の銀行による花と緑のグループの育成や活動支援 <ul style="list-style-type: none"> • 花の種苗・緑化木の配布、地域緑化活動の支援 • 花壇コンクール、花と緑の大会の開催 • 広報誌やホームページによる花と緑に関する情報提供 • 花とみどりの少年団活動への支援（再掲） ■ グリーンキーパーの適正配置と新たなグループの掘り起こし <ul style="list-style-type: none"> • グリーンキーパーの各市町村への適正配置、資質向上のための各種研修等の実施 • 新たな緑化活動のきっかけとなる1日花壇教室の開催 〔・ 開催地：実態調査に基づく重点支援地区〕 〔・ 教室内容：ミニ花壇づくりやプランター植栽の指導、園芸相談など〕 ■ 中央植物園を中心とする花と緑の拠点施設のネットワーク化 <ul style="list-style-type: none"> • 中央植物園の管理運営 〔・ 植物の観察・学習機能、調査・研究機能等を備えた総合的な植物園としての運営管理〕 • 植物公園ネットワークの運営 〔・ 各植物園の情報のネットワーク化による展示状況や行事予定等の一元的な情報提供〕 ■ 花と緑があふれる地域づくり <ul style="list-style-type: none"> • 道路や水辺等の緑化推進と維持管理 • 公園、学校、公共施設等における緑化推進と維持管理 • シンボリック花壇の維持管理（花だより花壇、花時計等） ■ 花や緑に親しみ、学習する機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> • (財)花と緑の銀行による講習会や研修会などの普及活動の実施 • 中央植物園や専門植物園による教育普及活動の実施 〔・ 中央植物園：子供向け教室、観察会、講習会など〕 〔・ 専門植物園：県民緑花カレッジ講座、花しょうぶ祭りなど〕 • 緑化イベント（「とやま森の祭典」、「花と緑のフェスティバル」、「都市緑化祭」など）の開催 • 児童生徒が花や緑をいつくしみ育てる喜びを知る学習の実施